

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-9

< 第33週 > マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続して増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向

< 7月 > 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について



注目すべき感染症
P.10-14

< 麻疹 > 第33週現在における累積報告数は418例であり、昨年を大きく下回っている

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 本年第33週までの累積報告数は1,999例である



病原体情報
P.15-17

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2005年 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2005年 / ヘルパンギーナ患者から検出されているコクサッキーウイルス 2005年 / インフルエンザウイルス 2005年第28週(7/11～)以降



速報
P.18-19

仙台市における2005年6～7月のAH1型インフルエンザウイルスの分離 / 夏季に発生したAH3型インフルエンザウイルスの施設内流行 - 奈良県



海外感染症情報
P.20-23

ルクセンブルクでのハンタウイルス流行 / ロシアの鳥インフルエンザ最新版の英語訳がEpiNorthホームページで公開 / アンゴラでのマールブルグ病流行 / アンゴラでのポリオ流行 / インドネシアでのポリオ流行 / 西アフリカでのコレラ流行 / ウエストナイルウイルス活動性



感染症の話
P.24

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(33週)
P.25-31



グラフ総覧(7月)
P.32-36



7月のデータ
P.37-40



33週のデータ
P.41-52



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

<第33週コメント> 8月25日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 細菌性赤痢 6例(推定感染地域: インド2例、フィリピン2例、パキスタン1例、メキシコ1例)

腸チフス 1例(推定感染地域: 国内)

パラチフス 1例(推定感染地域: バングラデシュ)

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 164例(うち有症者107例)

報告の多い都道府県: 東京都(17例)、大阪府(17例)、埼玉県(13例)、福岡県(12例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(66例)、O157 VT2(44例)、O26 VT1(31例)、O157 VT1(8例)、O111 VT1(2例)、O26 VT1+O111 VT1(1例)、その他(12例)

年齢: 10歳未満(79例)、10代(17例)、20代(15例)、30代(24例)、40代(8例)、50代(6例)、60代(9例)、70歳以上(6例)

4類感染症: A型肝炎 1例(推定感染地域: 国内)

デング熱 1例(推定感染地域: マレーシア)

日本紅斑熱 1例(宮崎県)

マラリア 1例(三日熱_推定感染地域: パプアニューギニア)

レジオネラ症 5例(50代2例、60代1例、70代2例)

5類感染症: アメーバ赤痢 9例

推定感染地域: 国内6例、ベトナム1例、不明2例

推定感染経路: 経口3例、性的接触(同性間)1例、不明5例

ウイルス性肝炎 2例

[ともにB型_推定感染経路: 性的接触(異性間)1例、不明1例]

クロイツフェルト・ヤコブ病 4例(すべて孤発性)

後天性免疫不全症候群 11例(無症候8例、AIDS 2例、その他1例)

推定感染経路: 性的接触10例(異性間5例、同性間3例、異性間/同性間2例)、不明1例

推定感染地域: 国内7例、ウガンダ1例、東南アジア1例、不明2例

ジアルジア症 1例(推定感染地域: ガーナ)

梅毒 8例(早期顕症I期1例、早期顕症II期4例、晩期顕症1例、無症候2例)

破傷風 1例(60代)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例

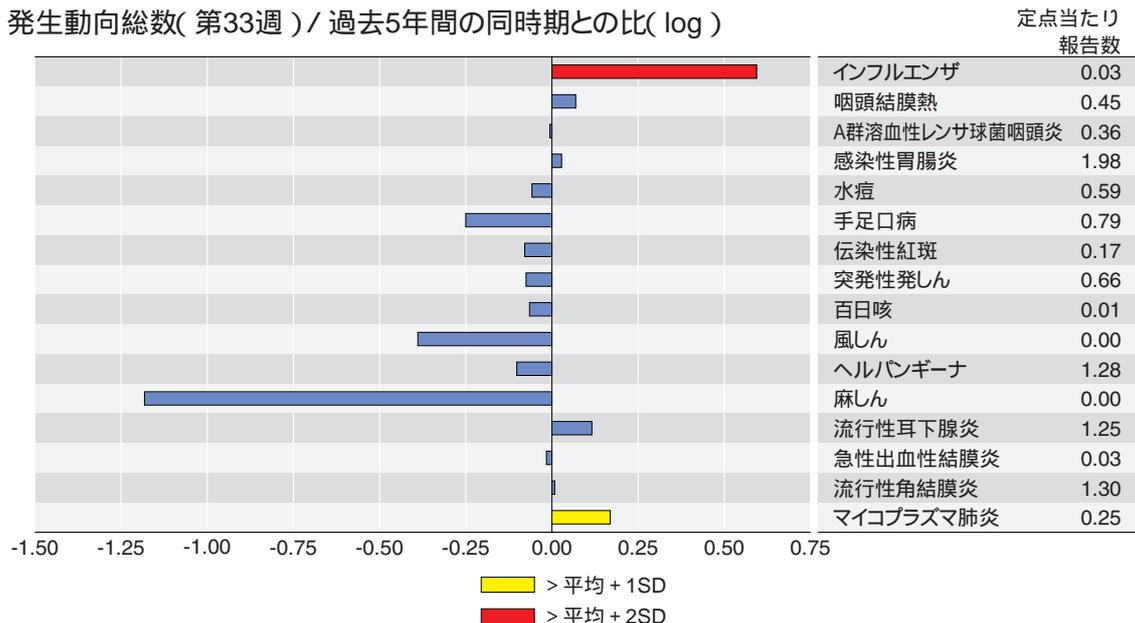
(遺伝子型: VanB_菌検出検体: 中心静脈カテーテル)

(補)他に、細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症1例、アメーバ赤痢1例、梅毒1例の報告があったが削除予定。また、報告遅れとして、コクシジオイデス症1例(推定感染地域: 米国アリゾナ州)、アメーバ赤痢1例(死亡)の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第33週) / 過去5年間の同時期との比(log)



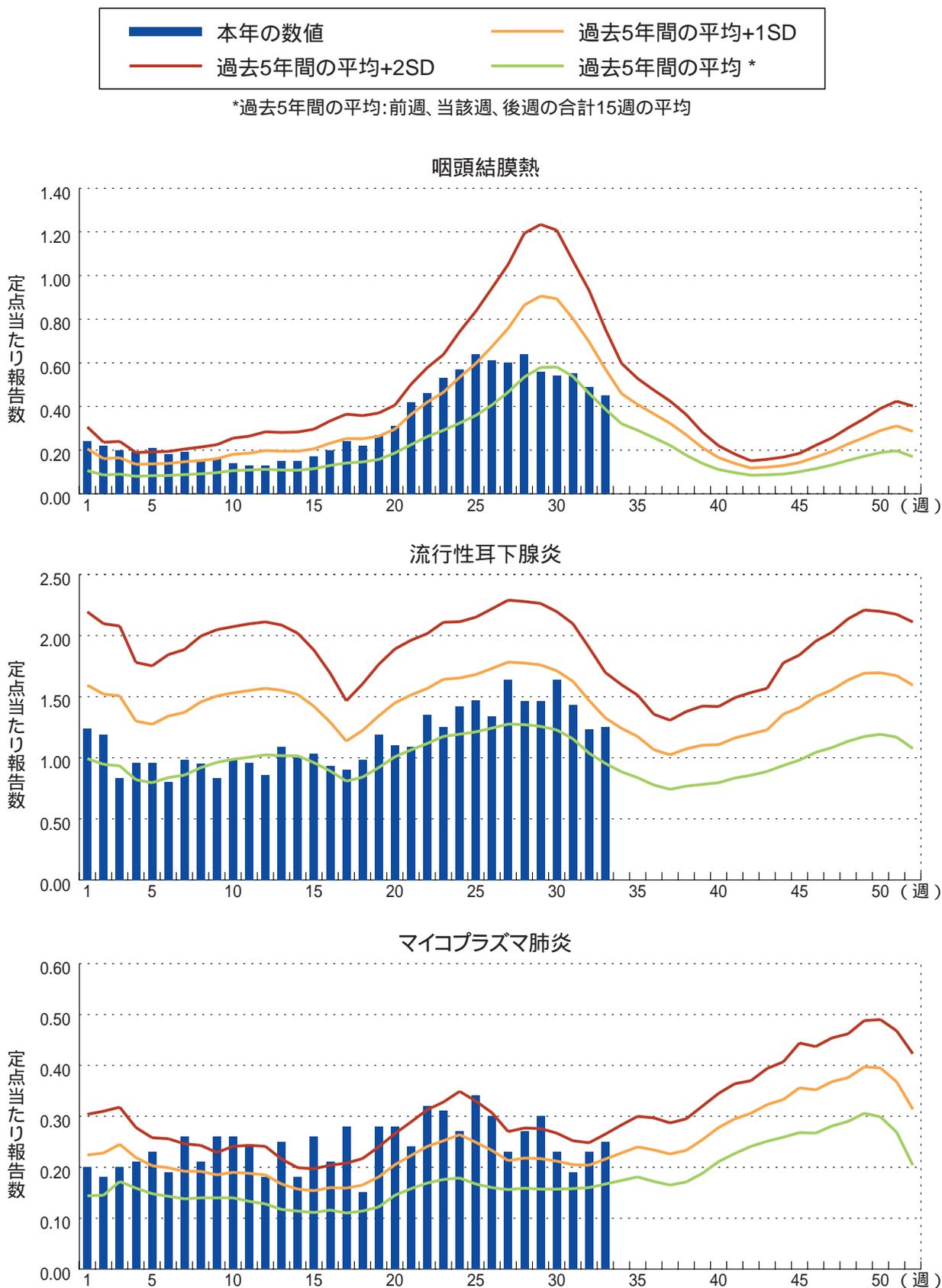
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

インフルエンザ定点報告疾患 : 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い状態が継続している。都道府県別では沖縄県(2.03)、鹿児島県(0.10)、茨城県(0.03)、三重県(0.03)が多い。

小児科定点報告疾患 : 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続して減少した。都道府県別では大分県(2.1)、静岡県(1.3)、高知県(1.2)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第22週以降、減少が続いている。都道府県別では大分県(0.97)、徳島県(0.96)、宮崎県(0.92)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第21週以降、減少が続いている。都道府県別では宮崎県(5.8)、福井県(5.8)、大分県(5.7)が多い。水痘の定点当たり報告数は第29週以降、減少が続いている。都道府県別では山梨県(1.00)、佐賀県(0.91)、新潟県(0.84)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第28週以降、減少が続いている。都道府県別では新潟県(3.6)、鳥取県(3.5)、岡山県(3.5)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第28週以降、減少が続いている。都道府県別では青森県(0.52)、福島県(0.48)、福岡県(0.43)が多い。百日咳の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では福岡県(0.07)、和歌山県(0.06)、長崎県(0.05)が多い。風しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では東京都(0.03)、千葉県(0.02)、兵庫県(0.02)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第28週以降、減少が続いている。都道府県別では新潟県(4.2)、宮崎県(3.7)、青森県(3.5)が多い。麻しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では鳥取県(0.05)、秋田県(0.03)、和歌山県(0.03)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では沖縄県(3.4)、石川県(3.2)、茨城県(2.5)が多い。RSウイルス感染症は、ゼロ報告を含めて35都道府県から28例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約64%を占めている。

基幹定点報告疾患 : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続して増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では山口県(1.8)、石川県(1.6)、青森県(1.0)、福島県(1.0)、岡山県(1.0)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2005年第1 ~ 33週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。



7月コメント

性感染症について(8月15日集計分) 性感染症定点数: 920

2005年7月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.38(男1.50、女1.87)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.96(男0.40、女0.56)、尖圭コンジローマが0.65(男0.40、女0.25)、淋菌感染症が1.39(男1.16、女0.23)で、4疾患のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった(図1)。前月に比べると、男性の尖圭コンジローマが引き続き増加し、他はほぼ横ばいである(32～35ページグラフ総覧参照)。過去5年間の同時期と比較すると、性器クラミジア感染症が男女共に平均-1標準偏差(SD)を、淋菌感染症が男性で平均-2SD、女性で平均-1SDを下回っていた。一方、性器ヘルペスウイルス感染症が男女共に平均+1SDを、尖圭コンジローマが男性で平均+2SDを超えていた(図2)。

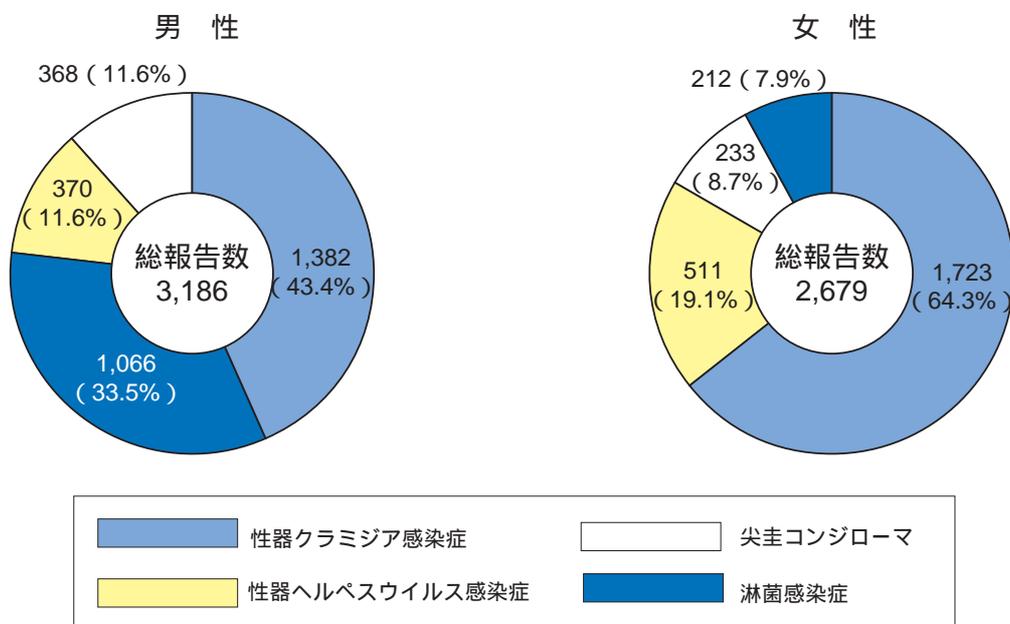
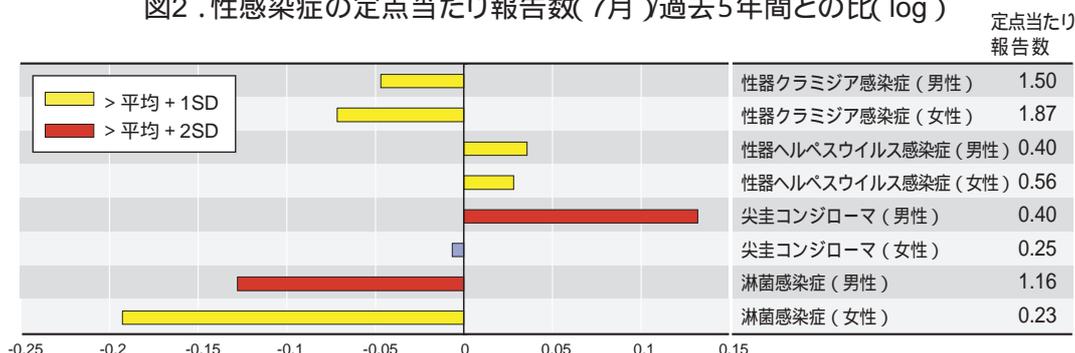


図1. 各性感染症が総報告数に占める割合(7月)

図2. 性感染症の定点当たり報告数(7月)過去5年間との比(log)



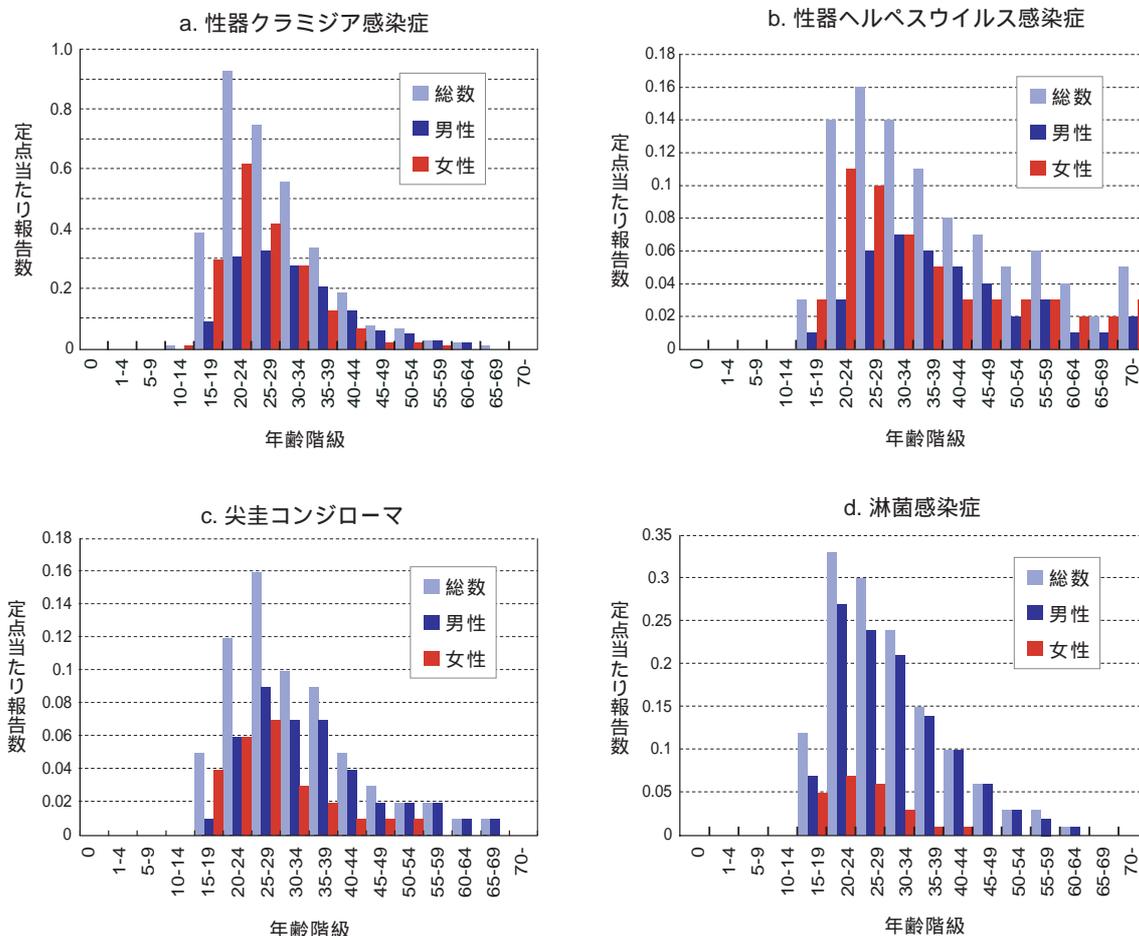
当該月と過去5年間の平均(過去5年間の前月、当該月、後月の合計15月の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

定点当たり報告数を年齢階級別・男女別に比較すると、いずれの疾患でもピークは20～29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では50代以降の高年齢層からの報告も少なくない(図3)。淋菌感染症では男性の占める割合が高いが、他の3疾患では若年齢層で女性の報告者数の方が多い。

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年齢層(15～29歳)での各性感染症の定点当たり報告数を月別・男女別に図4に示した。夏季シーズンを迎えたが、性器クラミジア感染症および淋菌感染症はあまり増加していない。

注：本発生動向調査で得られる性感染症患者報告数および解析結果は、現在の定点の構成に基づく制限のもとに解釈される必要がある。詳細はIDWR週報2000年第46号(10月報)4ページの説明を参照されたい。

図3. 性感染症の年齢階級別・性別グラフ(7月)



薬剤耐性菌感染症について(8月15日集計分)

7月の定点(基幹定点)総数 : 470

[定点当たり報告数]

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

3.77(前月: 4.01、前年同月: 3.84)

定点当たり報告数は、例年年間を通してほぼ一定である。本年7月は前月より減少し、過去6年間の同月との比較では2002年、2003年、2004年に次いで多かった。

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

0.93(前月: 1.23、前年同月: 0.85)

定点当たり報告数は、例年春から初夏にかけて(4~6月と冬(11、12月)に多く推移しているが、昨年(2004年)は1~6月までほぼ同数で推移した。本年は2003年以前と同様に4月、5月と増加し、6月から減少し、7月も減少した。過去6年間の同月との比較では、2002年、2003年に次いで多かった。

薬剤耐性緑膿菌感染症

0.15(前月: 0.11、前年同月: 0.14)

定点当たり報告数は、例年一年の後半が前半に比してわずかに多い傾向がある。本年7月は前月より増加し、過去6年間の同月との比較では2003年に次いで多かった。

[年齢階級別]

MRSA感染症...高齢者に多く、65歳以上が全体の69.0%(70歳以上が60%)を占めている(図1)。

PRSP感染症...小児に多く、10歳未満が全体の67%(5歳未満が60%)を占めている。また高齢者にも多く、65歳以上が全体の21%(70歳以上が17%)を占めている(図2)。

薬剤耐性緑膿菌感染症...高齢者に多く、65歳以上が全体の75%(70歳以上が69%)を占めている(図3)。

[性別] 女性を1として算出した男/女比

MRSA感染症...1.6/1

PRSP感染症...1.5/1

薬剤耐性緑膿菌感染症...2.1/1

[都道府県別]

MRSA感染症...定点当たり報告数は栃木県(9.1)、山口県(7.6)、滋賀県(7.3)、香川県(7.3)が多い。

PRSP感染症...定点当たり報告数は千葉県(8.6)、富山県(5.0)が多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症...定点当たり報告数は岩手県(0.6)、富山県(0.6)、岡山県(0.6)、広島県(0.6)が多い。

図1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



図2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

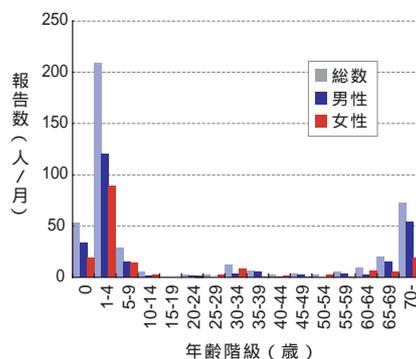
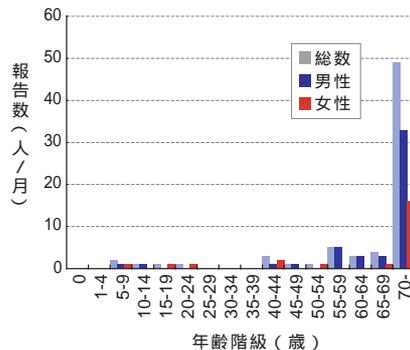


図3. 薬剤耐性緑膿菌感染症



結核サーベイランス月報(8月24日集計分)

7月の新登録患者数は2,484人(男性1,615、女性869人)で、このうち活動性肺結核患者は2,003人(うち喀痰塗抹陽性者は922人)であった。都道府県・政令指定都市別の新登録患者数は、東京都(337人)、大阪市(142人)、大阪府(大阪市を除く)(136人)、愛知県(名古屋市を除く)(104人)、千葉県(千葉市を除く)(92人)が多い。

また、別掲により集計されているマル初者数*は361人であった。

*マル初者...結核の感染が強く疑われるが発病はしておらず、発病予防のための内服を行っている者。

詳しいコメントは、結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。



注目すべき感染症

麻疹

麻疹は麻疹ウイルス(measles virus)の初感染によって発生する急性の伝染性疾患である。感染経路は空気感染(飛沫核感染)、飛沫感染、接触感染と様々であり、感染力は極めて強い。免疫を保有していない人が感染した場合の発症率は、ほぼ100%である。10日間前後の潜伏期を経て、カタル期(2~4日間)、発疹期(3~5日間)、回復期の経過をたどるが、38~40 の高熱が1週間前後持続し、合併症の発症率は30%以上、入院率も40%に達する疾患である(IDWR 2005年第17・18週号「注目すべき感染症」参照)。

定点医療機関からの年間の累積報告数は、2000年以降の5年間では2001年の33,812例(定点当たり累積報告数11.40)をピークとして、その後は減少が続いている。2004年は年間の累積報告数は1,554例(定点当たり累積報告数0.51)で、1995年以降の過去10年間の中でも、累積報告数および定点当たり累積報告数は最も少ない値であった(図1、図2)。そして2005年は、第33週現在における累積報告数は418例(定点当たり累積報告数0.14)であり、昨年の第33週での累積報告数1,342例(定点当たり累積報告数0.44)をさらに大きく下回っている(図1)。

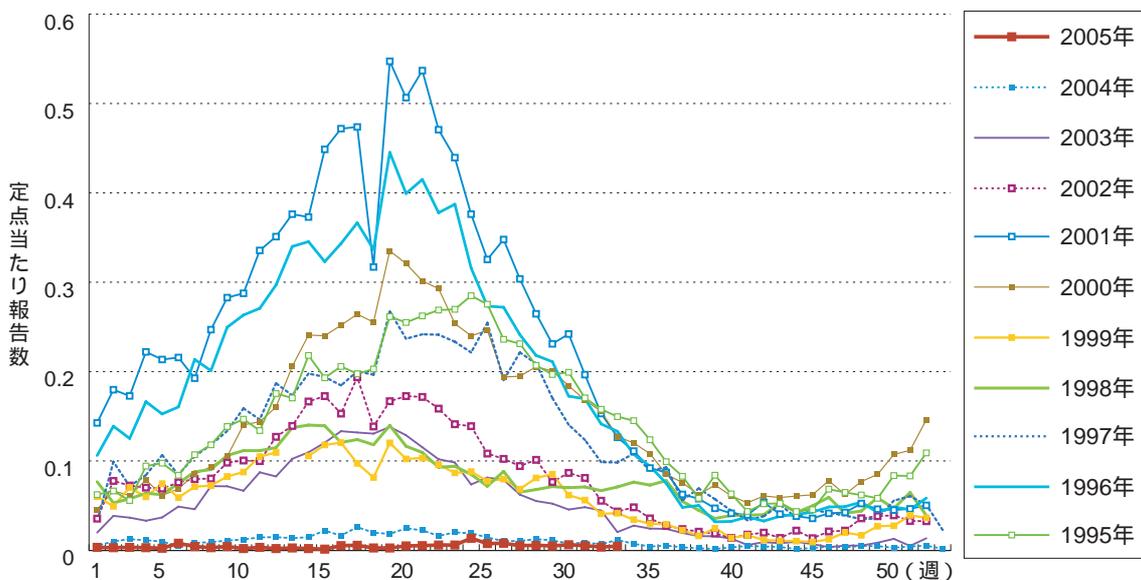


図1. 麻疹の年別・週別発生状況(1995-2005年第33週)

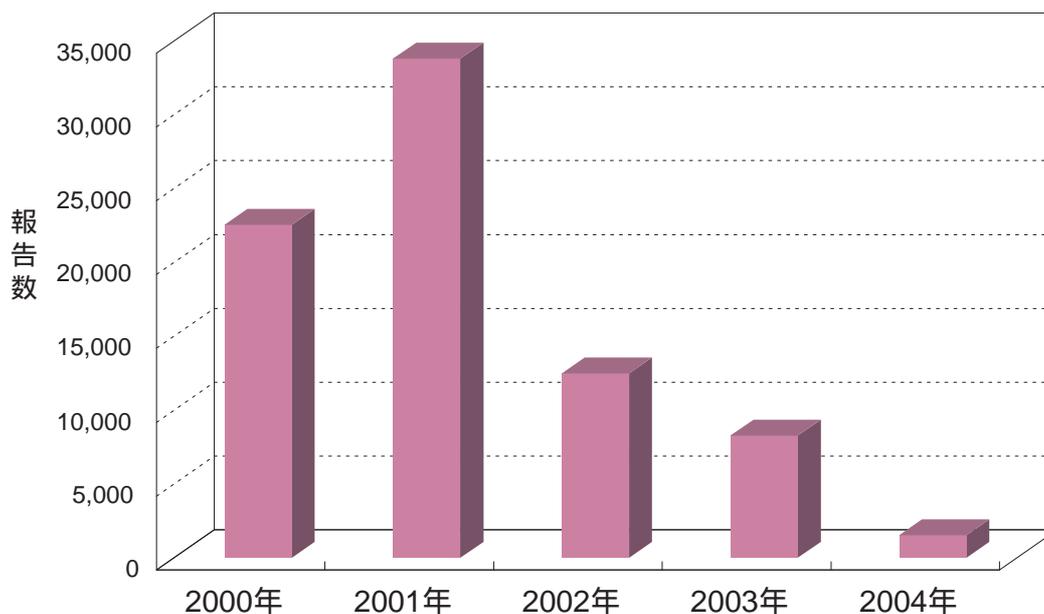


図2. 麻疹の年別発生状況(2000 ~ 2004年)

麻疹には特異的な治療法はなく、唯一の効果的な対策はワクチン接種による予防である。2001年の全国的な麻疹の流行以降、小児科医の組織や地方自治体などで1歳早期におけるワクチン接種キャンペーンが開始され、市町村レベルでは1歳児の接種率が90%を超えるところも認められるようになった。しかしながら、全国的には1歳児の麻疹ワクチン接種率が大きく上昇したとは言えない。感染症流行予測調査報告書(厚生労働省結核感染症課、都道府県および地方衛生研究所、国立感染症研究所などの協力による)によると、年齢的に発生の中心である1歳児の麻疹抗体保有率(PA抗体価1:16以上)は、2003年度において61.9%であった(2004年度の結果は現在集計中であり、間もなく当感染症情報センターのホームページ上に掲載の予定である)。現在の状況は、麻疹発生者数の減少によって麻疹ウイルスに曝露する機会が大きく減少し、ワクチン既接種者でも感受性者となることが増えている状況である。

麻疹の感染力は強力であり、保育施設や学校などでの集団発生によって容易に地域への流行に発展していく例がしばしば認められている。今後、1歳時を含めた若年幼児におけるワクチン接種率が低下するようなことがあれば、近い将来において再び流行を招来する可能性が高い。今後とも、麻疹の発生動向には注意が必要である。

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の2005年の報告数は第20週に50例を超えた後、増加傾向が認められ、第23週には100例、第28週には150例を超えた。その後は週ごとに増減はあるものの、第26週からは継続して100例を超えている。本年第33週までの累積報告数は1,999例(2002年2,175例、2003年1,360例、2004年2,118例)であり、現在までのところ例年に比べて特に多いとは言えない(図1)。

都道府県別では、第33週に報告の多かったのは東京都(17例)、大阪府(17例)、埼玉県(13例)、福岡県(12例)であった。また、累積報告数では大阪府(130例)、東京都(127例)、北海道(113例)、愛知県(106例)が多い(図2)。

第33週に報告された164例のうち、性別では男性74例、女性90例であり、年齢階級別(10歳毎)では相変わらず0～9歳(79例)が最も多く、48%を占めた(図3)。また有症状者は107例(65%)で、無症状病原体保有者が57例であった。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期検便によって発見される場合もあるが、多くは探知された患者と食事を共にした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。また、第33週には溶血性尿毒症症候群(HUS)3例、死亡1例の報告があり、累積ではそれぞれ22例、3例となった。ただし、HUSなどの合併症や死亡については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があり、発生があった場合の追加・修正報告をお願いしている。

血清型・毒素型別では、第33週はO157 VT1・VT2(66例)、O157 VT2(44例)、O26 VT1(32例)の順に多く、累積報告数では、O157 VT1・VT2(754例)、O157 VT2(433例)、O26 VT1(359例)の順に多い。

例年集団発生が多く認められる保育施設も含め、本年も各種施設における集団発生や死亡の報告がなされている。食品の取り扱いには十分注意して食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。保育所においては、特にオムツ交換時の手洗い、園児に対する食前・食後の手洗い指導の徹底、簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。

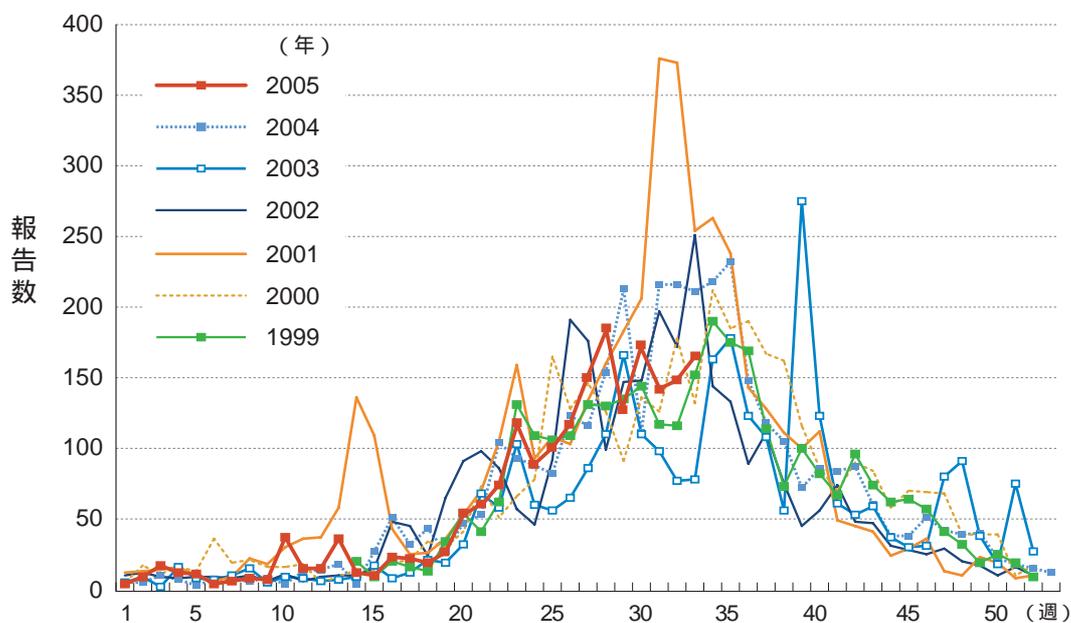


図1. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の年別・週別発生状況

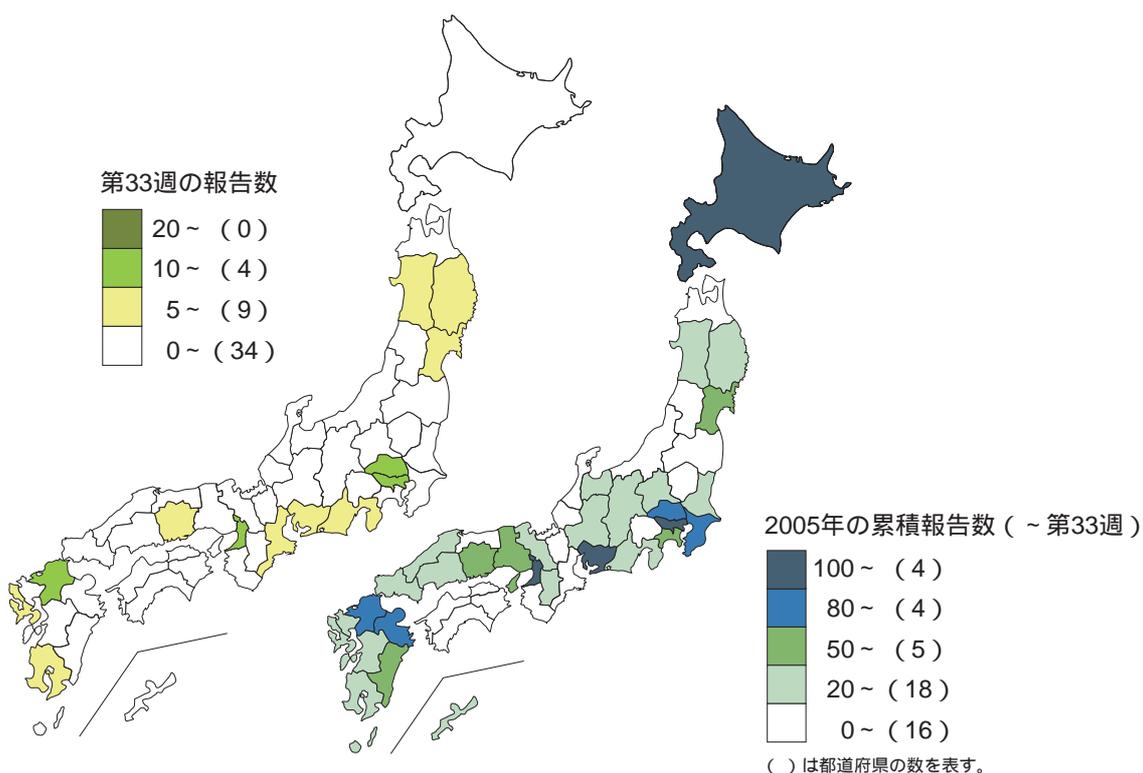


図2. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の都道府県別発生状況

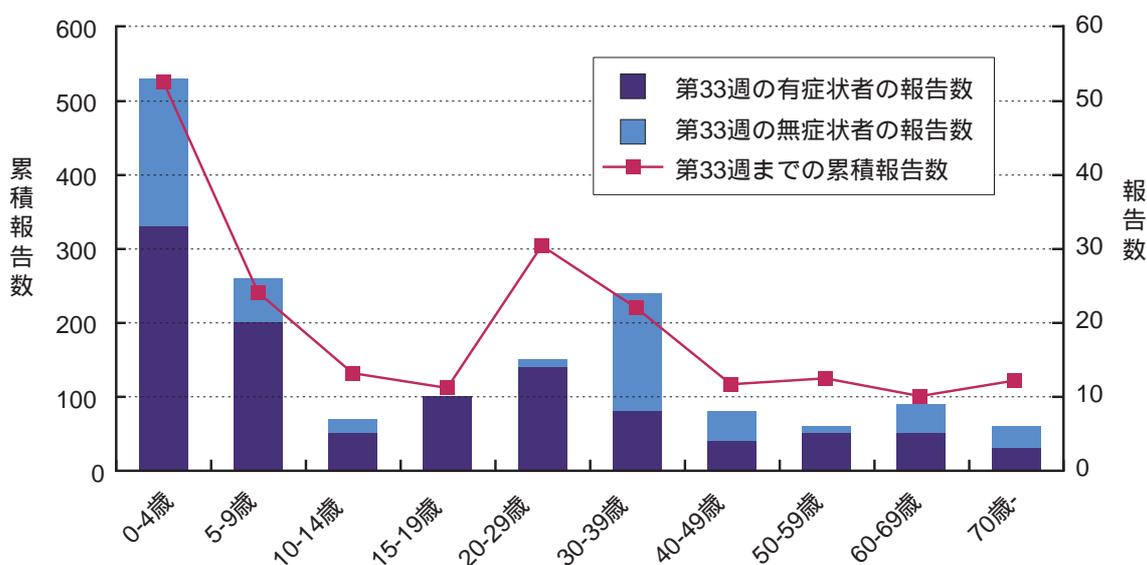


図3. 腸管出血性大腸菌感染症の年齢別発生状況(症状の有無を含む)



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

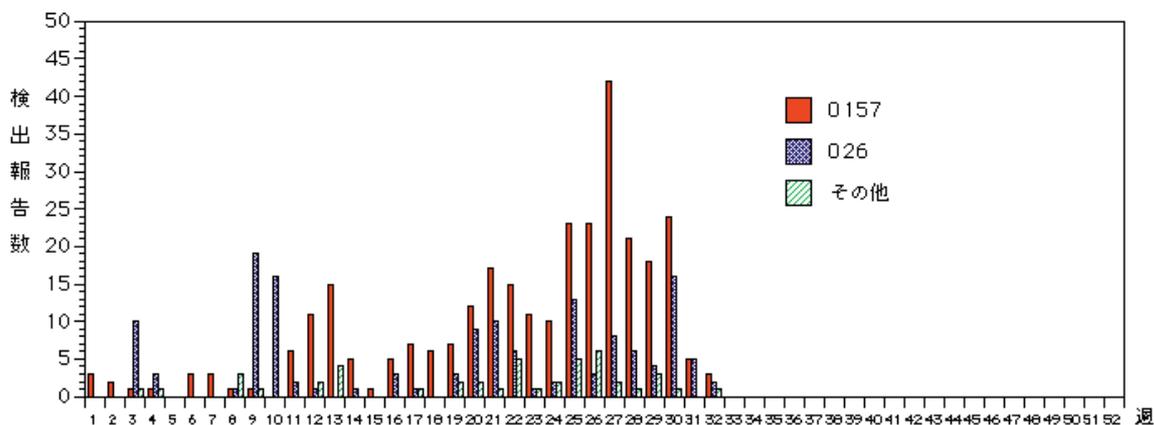
各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2005年8月26日現在報告分)

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2005年

2005年の検出総数は494件で、O157が304件、O26が145件、その他の血清型が45件報告されている。第31週に岩手県からO26の集団発生(キャンプ場)が報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2005年 (病原微生物検出情報：2005年8月26日現在報告数)

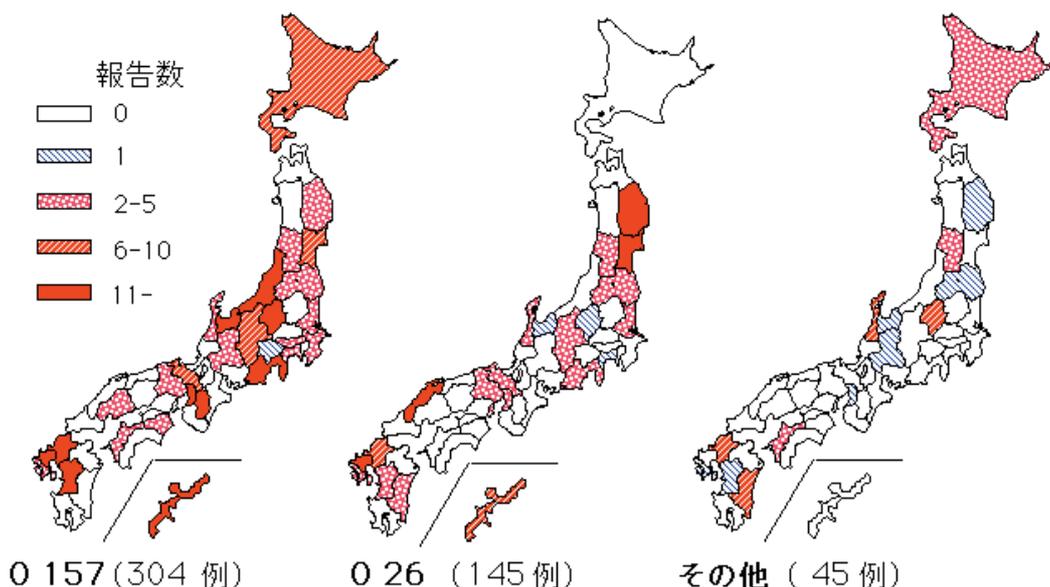


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



都道府県別Vero毒素産生性大腸菌検出報告状況、2005年第1～第32週

(病原微生物検出情報：2005年8月26日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



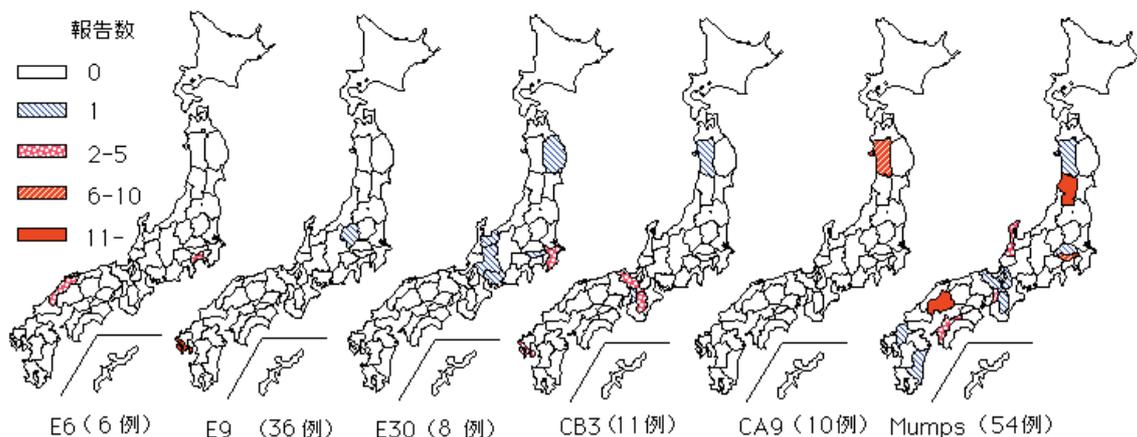
無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2005年

2005年の検出総数は146件で、このうちムンプスウイルスが54件と3分の1を占めている。エンテロウイルスではE9が36件、CB3が11件、CA9が10件、E30が8件、E6が6件、CB4が3件、E3とE25が2件、CB1、E14、E16、EV71が各1件報告されている。

E9は36件中35件が長崎県での検出、CA9は10件全部が秋田県での検出である。CB3は5府県、E30は6都県、ムンプスウイルスは14都府県から検出が報告されている。

都道府県別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス検出報告状況, 2005年

(病原微生物検出情報: 2005年8月26日現在報告数)



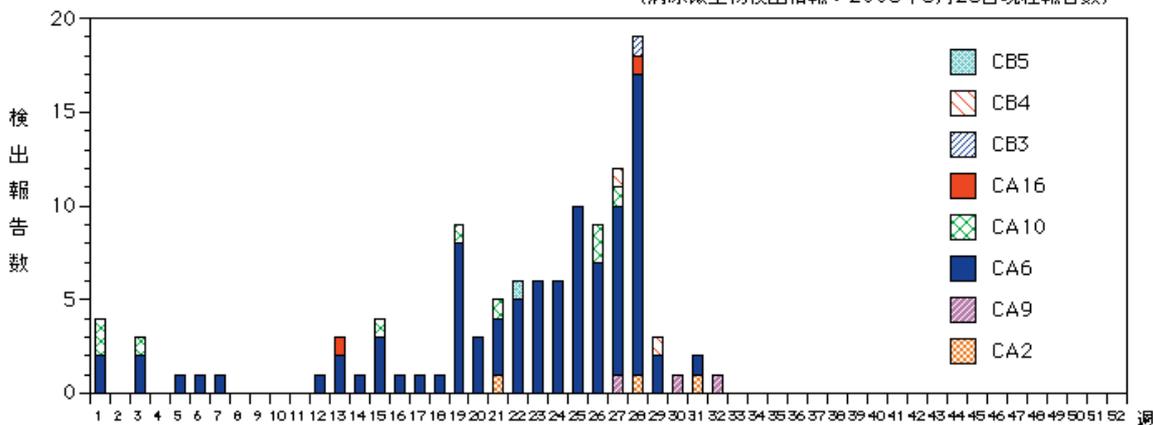
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



ヘルパンギーナ患者から検出されているコクサッキーウイルス 2005年
 CA6が93件、CA10が9件、CA2とCA9が3件、CA16、CB4が各2件、CA5、CB3、CB5が各1件報告されている。CA6は17府県から検出が報告されている。

週別ヘルパンギーナ患者からの主なコクサッキーウイルス分離報告数、2005年

(病原微生物検出情報：2005年8月26日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



インフルエンザウイルス 2005年第28週(7/11 ~)以降

AH3型は第28、29週に各1件が山形県で分離された後、第31週に兵庫県でタイ渡航歴のある人から1件、第32週には奈良県で施設内集団発生例から6件分離されている(本号19ページ速報記事参照)。24週以降AH3型の分離が続いていた沖縄県では、第31週以降は報告がない。

一方、第28週には宮城県からAH1型の分離が2件報告されている(本号18ページ速報記事参照)。B型は、第20週に山形県と佐賀県で各1件分離・検出された後は報告されていない。



仙台市における2005年6～7月のAH1型インフルエンザウイルスの分離

2005(平成17)年6～7月の期間に、仙台市内において、インフルエンザ様疾患患者由来の臨床検体からAH1型インフルエンザウイルスが分離されたので報告する。

7月15、16日に医療機関を受診してインフルエンザと診断され、当仙台市衛生研究所に送られた4名の患者の咽頭ぬぐい液のうちの2件から、AH1型インフルエンザウイルスが分離された。ウイルスが分離された患者は4歳と7歳で、7月14～15日に発症し、主症状は発熱(38～40)、上気道炎であった。なお、4歳児の姉も1週間前に発熱しており、7歳児と同じ小学校の生徒であった。検体(咽頭ぬぐい液)をMDCK細胞に接種したところ、培養4日目で2検体に明瞭な細胞変性効果(CPE)が認められたため、培養上清について感染研から分与された2004/05シーズン用インフルエンザ検査キットを用いてHI試験(0.75%モルモット赤血球使用)を実施したところ、抗A/Wyoming/03/2003(ホモ価640)、抗B/Johannesburg/5/99(同1,280)、抗B/Brisbane/32/2002(同320)に対してはHI価<10を示したが、抗A/Moscow/13/98(同640)に対して40、抗A/New Caledonia/20/99(同320)に対して320のHI価を示し、AH1型ウイルスと同定された。さらに培養上清からRNAを抽出し、川上ら¹⁾が報告したNA亜型同定用のプライマーでRT-PCRを行ったところ、N1のプライマーでのみ遺伝子が増幅されたことから、NAはN1亜型であり、A/H1N1型と同定された。

このほか仙台市内では、仙台医療センター・ウイルスセンターでも、6月23日に肺炎でA病院に入院した小児(9カ月・女)、および7月11日にインフルエンザ様疾患でB病院を受診した4歳男児から、ともにA/New Caledonia/20/99(ホモ価320)に対して320のHI価を示すAH1型インフルエンザウイルスが分離されている。

仙台市内では、2001/02シーズン以来3シーズンぶりにAH1型インフルエンザが分離されたが、分離数は増えず、当研究所の成績では4月中旬以降は分離されていなかった。しかし感染症発生動向調査情報によれば、シーズン終了後も継続的にインフルエンザ患者の発生が報告されており、また、今回AH1型インフルエンザウイルスが分離されたことから、今後もインフルエンザの発生動向に注意する必要があると思われる。

【文献】

1)病原微生物検出情報(IASR) 23(8): 198-199, 2002

仙台市衛生研究所

勝見正道 吉田麻耶 関根雅夫 小黒美舎子 熊谷正憲 吉田菊喜

池田クリニック 綿谷かおる

独立行政法人国立病院機構仙台医療センター・臨床研究部ウイルスセンター

西村秀一

東北労災病院小児科 高柳玲子

(IASR 2005年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

夏季に発生したAH3型インフルエンザウイルスの施設内流行 - 奈良県

インフルエンザ非流行期の7～8月の期間にAH3型インフルエンザの施設内流行が発生したので、経過および検査結果概要を報告する。

発生は2005年7月15日に、奈良県北部の病院(重症心身障害者病棟)内で入院中の男性患者(43歳、発熱38.8、倦怠感)から始まった。その後31日に1名が発症し、8月3～10日に職員を含む流行拡大が観察され、最終的に罹患者は入院患者28名、職員10名の総計38名に達した。病院側は臨床症状(発熱:37.3～40.0、食欲不振、咳および鼻汁)からインフルエンザを強く疑い、流行拡大期の患者から迅速診断を行い、A型インフルエンザの流行と判断した。届出を受けた保健所は疫学調査を開始し、非流行期であるためより詳細なウイルス検索(トリインフルエンザを含む)が必要との判断から、当研究センターに咽頭ぬぐい液6検体の検査を依頼した。

当センターでは遺伝子学的、および血清学的検査を実施した。遺伝子検索は清水ら¹⁾のプライマーを用いたRT-PCR法により解析を行い、すべての検体からAH3型インフルエンザウイルス遺伝子を検出した。得られたDNA断片からダイレクトシーケンス法で配列を判読し、本ウイルスの遺伝子配列がA/Jiangsu(江蘇)/76/2004(H3N2)株(accession No. AY854049)と最も高い相同性(約98%)を有することが判明した。なお、トリインフルエンザウイルス(H5N1)の検査結果は全例陰性であった。一方、MDCK細胞への接種でも全例CPEが観察され、国立感染症研究所から配布された3種の抗血清A/Wyoming/03/2003、A/Kumamoto(熊本)/102/2002、およびA/Panama/2007/99に対するHI価を測定した。結果は、各々640(ホモ価 1,280)、640(同 1,280)および20(同 320)であった。

以上のことから、今回の流行の原因ウイルスは遺伝子学的および血清学的に、2004/05シーズンに本県で流行した株と類似していたことが確認された。なお、8月11日以降、新たな患者発生は見られず、15日の段階で保健所は調査を終了した。

【文献】

- 1) 清水英明, 渡辺寿美, 今井光信, 感染症学雑誌 71(6): 522-526, 1997

奈良県保健環境研究センター

井上ゆみ子 北堀吉映 中野 守 米澤 靖

奈良県郡山保健所

石塚理香 北神 淳

(IASR 2005年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

ルクセンブルクでのハンタウイルス流行

Eurosurveillance Weekly, Vol. 10, Issue 8 2005年8月25日

最近、2005年のフランス、ベルギー、ドイツでのハンタウイルス感染が例年を上回る増加を示していることが報告されたが、それら3カ国に囲まれたルクセンブルクでも観察されている。2005年3月以降ルクセンブルクで、ハンタウイルスの1種である *Puumala hantavirus* 感染患者14名が検査によって診断された。2003年には患者2名が発生したが、2004年には患者の発生はなかった。患者のうち2名は、ベルギーとフランスとの国境沿いの町に居住していた。その他12名は、東部にある辺地の Mullerthal 地域とその近郊に集中しており、このことは、ルクセンブルク国内の感染発生が極めて限局していることを示唆している。Mullerthal は、ブナの森林と砂岩累層が特徴的な地区である。患者の平均年齢は41歳(範囲: 21 ~ 70歳)で、これは近隣諸国で認められた統計データに類似している。男女比は1.9である。これまでに確認された患者の大部分は6月に発生しているが、発生がすでに極期となったかどうかは明らかでない。ハンタウイルスはハタネズミ (bank vole) が保有しており、それらの個体数はエサの量に応じて変動することが知られている。

2004年はネズミのエサとなるブナの実が豊富になったため、今年はハタネズミ個体数が増加する可能性が高い。フランス北東部、ベルギー、ルクセンブルクおよびドイツ一帯を指す Ardennes 地域では、ハンタウイルス感染患者の発生ピークは春と夏にあり、ヨーロッパ北部の発生ピークが秋と初冬にあるのと異なる。もしも、ハタネズミとハンタウイルスに疫学的関連があれば、この地域以外の西ヨーロッパの落葉広葉樹地域でも、(同様の理由から) ハンタウイルス感染患者の発生が増加する可能性が高い。広葉樹林はオーストリア、ベルギー、チェコ共和国、フランス、ドイツ、ルクセンブルグ、スイスでも見られる。

2005年7月にルクセンブルクの臨床医と市民は、保健当局からハンタウイルス感染のリスクが高まっているとの情報提供を受け、感染予防のための指針が発表された。

ロシアの鳥インフルエンザ最新版の英語訳がEpiNorthホームページで公開

Eurosurveillance Weekly, Vol. 10, Issue 8 2005年8月25日

ロシアでの鳥インフルエンザ最新情報の公式記者発表の英語訳が、EpiNorth ウェブサイト (<http://www.epinorth.org/>) で入手可能である。EpiNorth は北欧の感染症制圧プロジェクトで、ロシア連邦の Federal Agency for Surveillance in the Field of Consumer Rights and Human Welfare (<http://www.gsen.ru/info/press/index.html>) のプレスリリースを8月16日から翻訳している。

アンゴラでのマールブルグ病流行

WHO/CSR 2005年8月24日 - 更新25

2005年8月23日現在、アンゴラ保健省は、累計で329人の死亡者を含む374名の患者発生(致死率: 88%) を報告した。このうち、323人の死亡者を含む368人は Uige 州で報告された。158人が検査で確認された。

Uige 州では52人の接触者が追跡調査されており、臨床検体は検査のため、カナダの公衆衛生局の国立微生物学研究所の特殊病原体プログラムに送付されている。

マールブルグ病の最後の確定患者は、2005年7月21日に Uige 州 Songo 村で死亡した。その後、確定患者は発生していない。

アンゴラでのポリオ流行

WHO/CSR 2005年8月25日 - 更新

2005年8月23日現在、ポリオ患者7名が報告されている。患者はBengo, Benguela, Luanda, Lunda Sul, およびMoxico州の5州で発生している。最新の患者は、7月12日に発病したBenguelaの患者であった。この患者は、7月29日の第1回全国ワクチン接種日(NID)キャンペーン以前に発生したことになる。8月26日に第2回NIDが予定されている。アンゴラでのポリオウイルス感染伝播を確実に迅速に遮断するため、2005年9月後半に3回目のNIDが計画されている。アンゴラのポリオ根絶計画の実施協力者らは、キャンペーン実施の財政的な支援を要請している。

インドネシアでのポリオ流行

WHO/CSR 2005年8月25日 - 更新13

8月24日現在、インドネシアで5人の新規患者が報告された。これにより、累計患者数は225人に増加した。汚染地域は西ジャワ、中央ジャワ、Banten, Lampung, ジャカルタである。

野生ポリオウイルスによる最新の患者は、7月29日に西ジャカルタ市と中央ジャカルタのBrebes地方で発病した。

8月30日に全国予防接種キャンペーン(NID)が実施予定で、インドネシア全土の5歳以下の2,400万人を対象にしている。9月27日にNIDの2回目が計画されている。

西アフリカでのコレラ流行

WHO/CSR 2005年8月26日

西アフリカでは数週間前に、今回のコレラ流行の波が始まった。現時点で、8カ国で患者31,259人、死亡者517人が報告された。

ブルキナファソ: 8月22日現在、Ouagadougou町で患者295人(死亡8人を含む)が発生した。

ギニア: 7月中旬～8月4日に、患者571人(死亡32人)が報告された。

ギニアビサオ: 6月6日～8月21日に、患者9,047人(死亡172人)が報告された。BissauとBimboでの患者が83%を占める。コレラは現在、遠隔地に拡大しており、11地区中10地区で発生している。

リベリア: 8月1～21日の期間に、患者703人(死亡29人)が発生した。Sinoe地区を含む。

マリ: 6月20日～7月24日の期間に、患者158人(死亡20人)が発生した。状況は制圧されたと思われる。

モーリタニア: 7月20日～8月10日の期間に、Nouakchottから患者497人(死亡10人)が報告された。国内では5月初旬から8月12日に4地区(Brakna, Guidimakha, Nouakchott, Traza)で流行が発生し、患者717人が報告された。

ニジェール: 7月13日～8月24日における3地域での流行で、Bouza, Tahoua地区から患者125人(死亡15人)が報告された。

セネガル: 1月から流行が始まり、3月末にピークが見られた今回の流行で、患者19,863人(死亡231人)が発生した。6月中旬以降、毎週平均400～500人の患者が報告され、過去2ヶ月では患者3,541人が報告された。

ウエストナイルウイルス活動性

ヘルスカナダ/West Nile virus MONITOR

2005年8月7 ~ 13日 第32週)

ヒト : 第32週には12人のウエストナイル患者が報告された。累計患者数は22名で、このうち発病患者が20名、(脳炎7、脳炎以外12、他1) 無症候性が2名であった。3名が旅行関連の感染であった。

トリ : 第32週には260羽の死亡が報告され、このうち76羽がWNV陽性であった。新たに3保健区からの報告があった。

オンタリオ州では25保健区(Niagara region, Oxford county, Wellington-Dufferin-Guel, Algoma, Chatham-Kent, Huron County, Oxford County, Timiskaming, York Regional, Halton, Hastings-Prince Edward, Lambton, Middlesex-London, North Bay, Northwestern, City of Ottawa, Peterborough, Thunder Bay, Toronto, Brant, Eastern Ontario, Hamilton-Wentworth, Peel, Simcoe, Waterloo)から報告があった。

マニトバ州では8保健区(Winnipeg, North Eastman, Interlake, Brandon, Central, Assiniboine, South Eastman, and Parkland)から報告があった。

ケベック州では4保健区(Laval, Mauricie et Centre-du-Quebec, Monteregie, and Laurentides)から報告があった。

サスカチュワン州ではRegina Qu 'Appelleからのみ報告があった。

死亡したトリについては、累計で2,956羽に検査が行われ、このうち180羽がWNV陽性であった。陽性の180羽のうち、144羽がAmerican Crowであった。

家畜 : 32週にはサスカチュワン州から、2頭のウマがWNV陽性であったと報告があった。

蚊 : 32週には、189蚊群がWNV陽性であった。内訳はマニトバ州(50)、オンタリオ州(106)、サスカチュワン州(32)とケベック州(1)であった。2003年以降の流行曲線参照。

CDC/West Nile Virus, 2005年8月23日

2005/8/23現在(米国CDCホームページより)

州	神経侵襲性 ¹⁾	ウエストナイル熱 ²⁾	他/不明 ³⁾	ヒト患者数	死亡者数
アラバマ	1	0	0	1	0
アリゾナ	7	9	3	19	0
アーカンソー	0	5	0	5	0
カリフォルニア	79	135	20	234	6
コロラド	2	19	0	21	0
フロリダ	3	4	1	8	0
ジョージア	0	1	1	2	0
イリノイ	19	9	0	28	0
インディアナ	1	0	0	1	0
カンザス	1	2	0	3	0
ルイジアナ	40	12	0	52	4
ミネソタ	3	8	0	11	0
ミシシッピ	5	4	0	9	1
ミズーリ	1	0	1	2	1
ネブラスカ	4	5	0	9	0
ネバダ	2	1	0	3	0
ニューメキシコ	4	2	0	6	0
ノースカロライナ	1	0	0	1	0
ノースダコタ	2	14	0	16	0
オハイオ	6	0	0	6	0
オクラホマ	1	0	0	1	0
ペンシルバニア	2	1	0	3	0
サウスダコタ	7	36	0	43	0
テキサス	13	0	0	13	0
ユタ	1	3	0	4	0
合計	205	270	26	501	12

- 1) 重症例を示し、特にウエストナイル髄膜炎やウエストナイル脳炎である。
- 2) 神経侵襲性の証拠がなく、より重症度の低い症例。ウエストナイル熱は現在、国レベルでは報告義務のある疾患ではない。したがって、州保健当局がCDCに報告するかどうかは任意である。
- 3) 「他」とはウエストナイル熱、ウエストナイル脳炎、あるいはウエストナイル髄膜炎以外の臨床所見を示す症例で、例えば急性弛緩性麻痺。「不明」とは十分な臨床情報が得られていない症例。

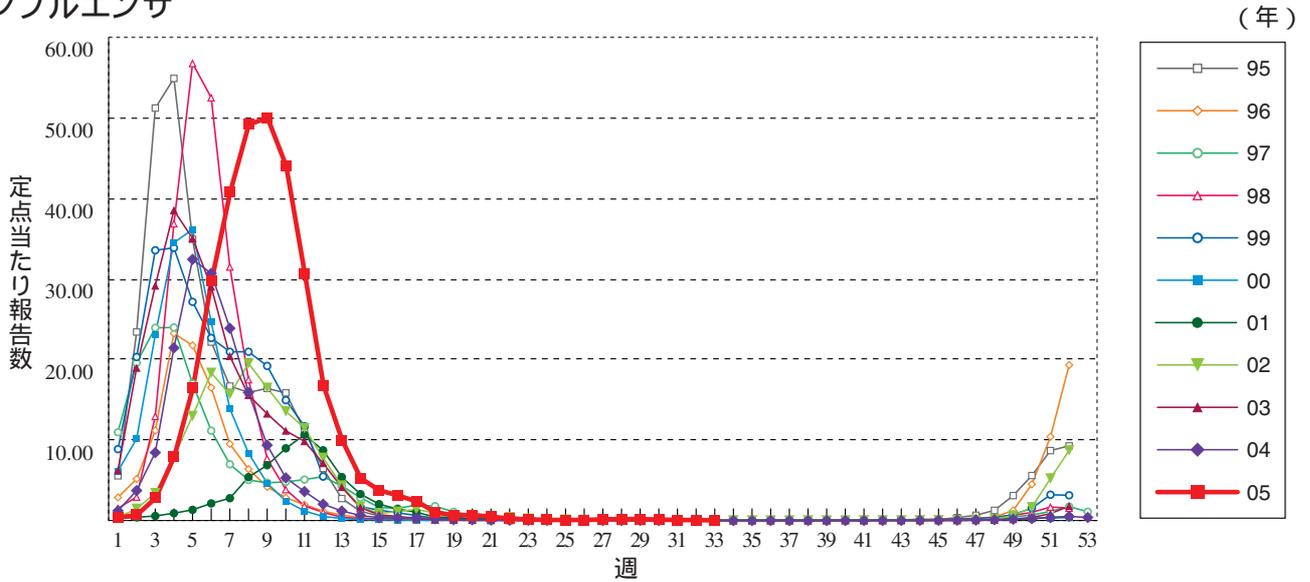


感染症の話

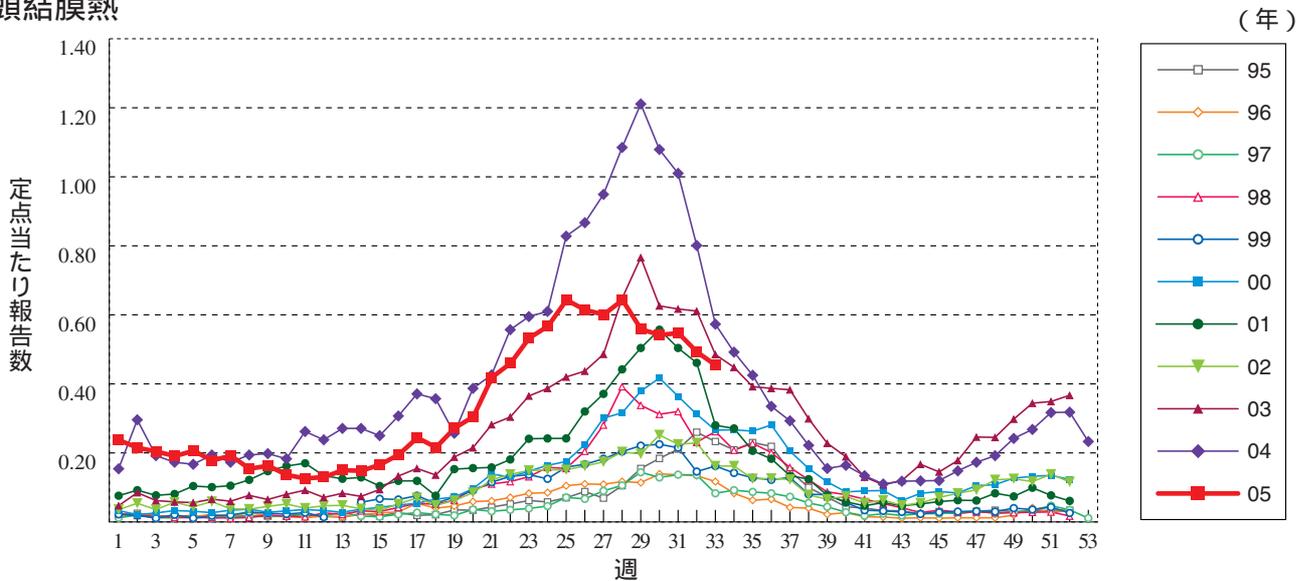
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(33週)

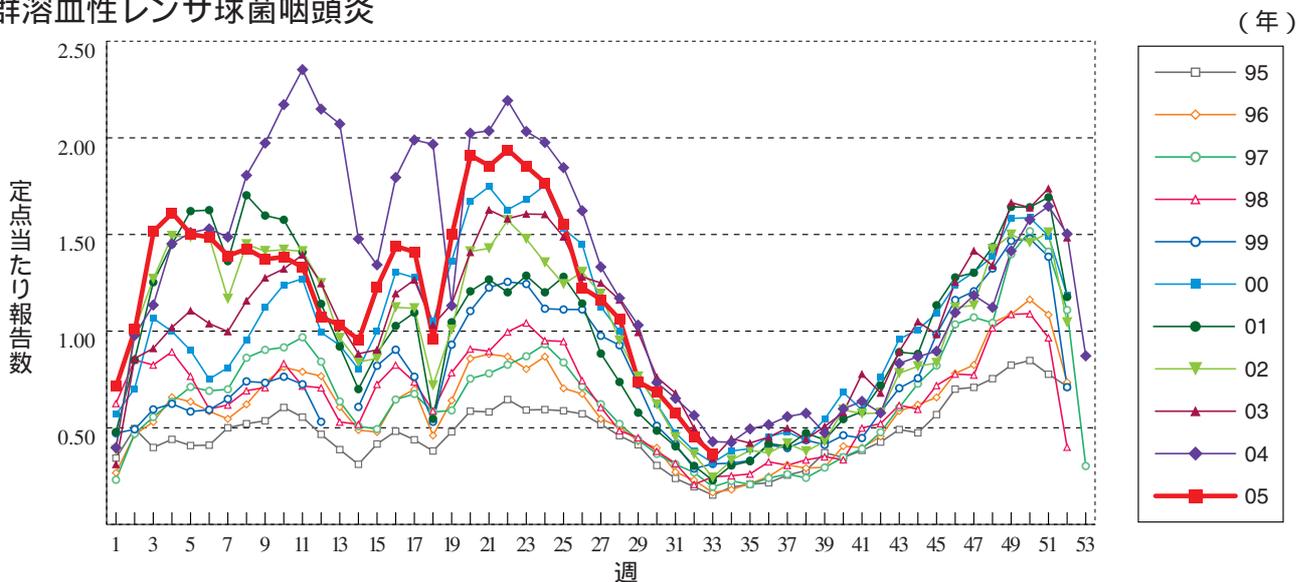
インフルエンザ



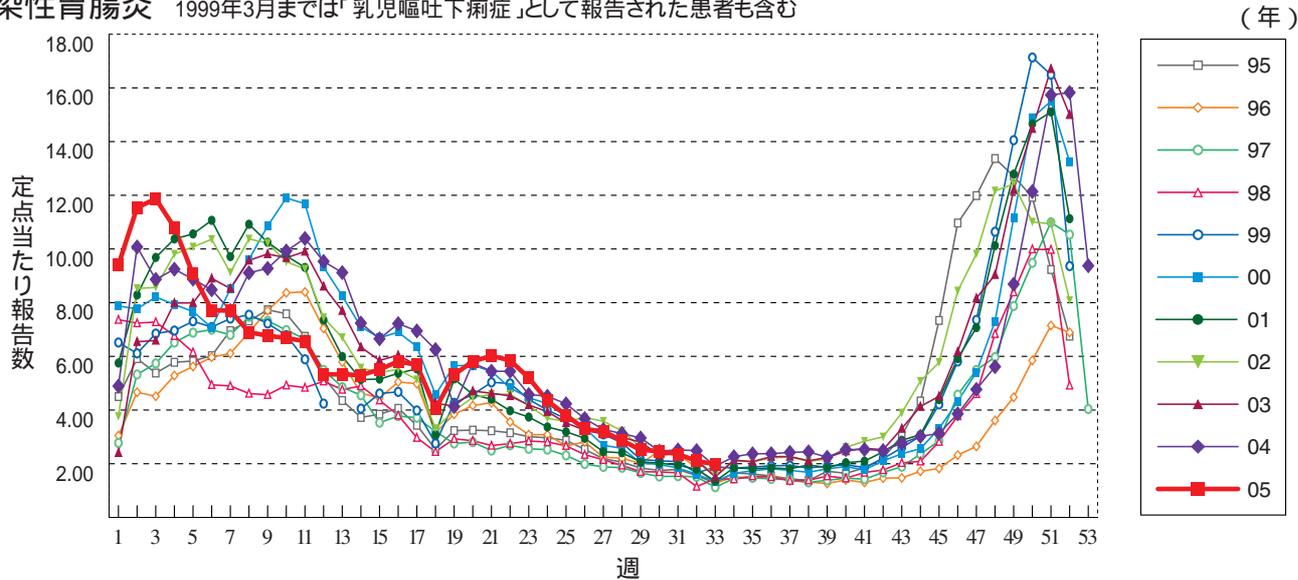
咽頭結膜熱



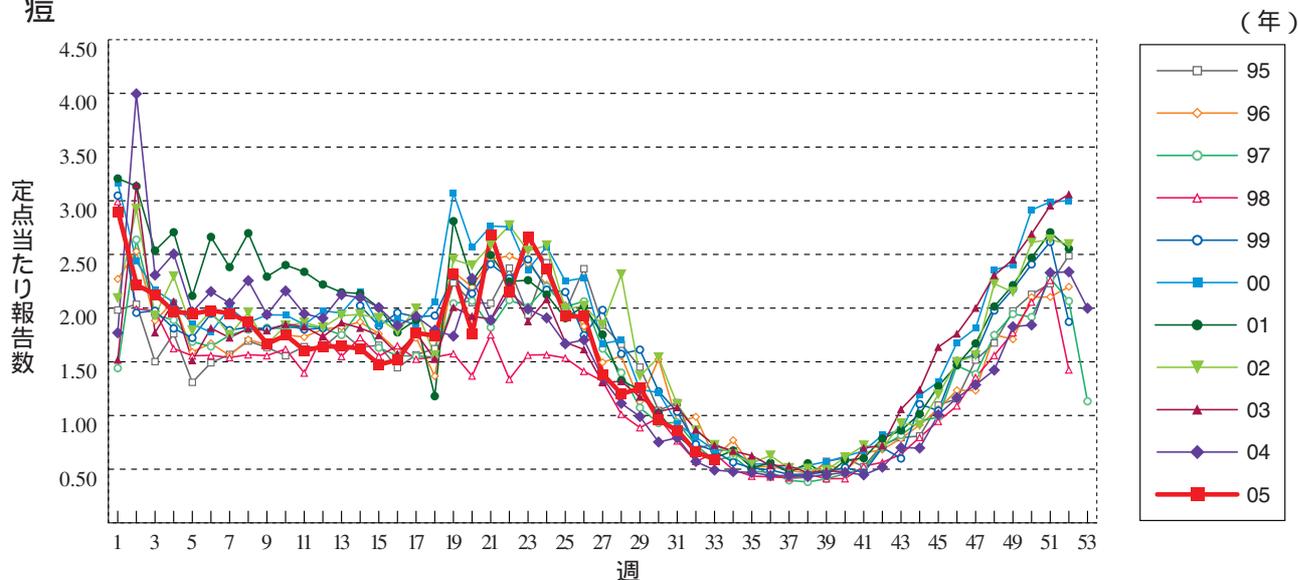
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



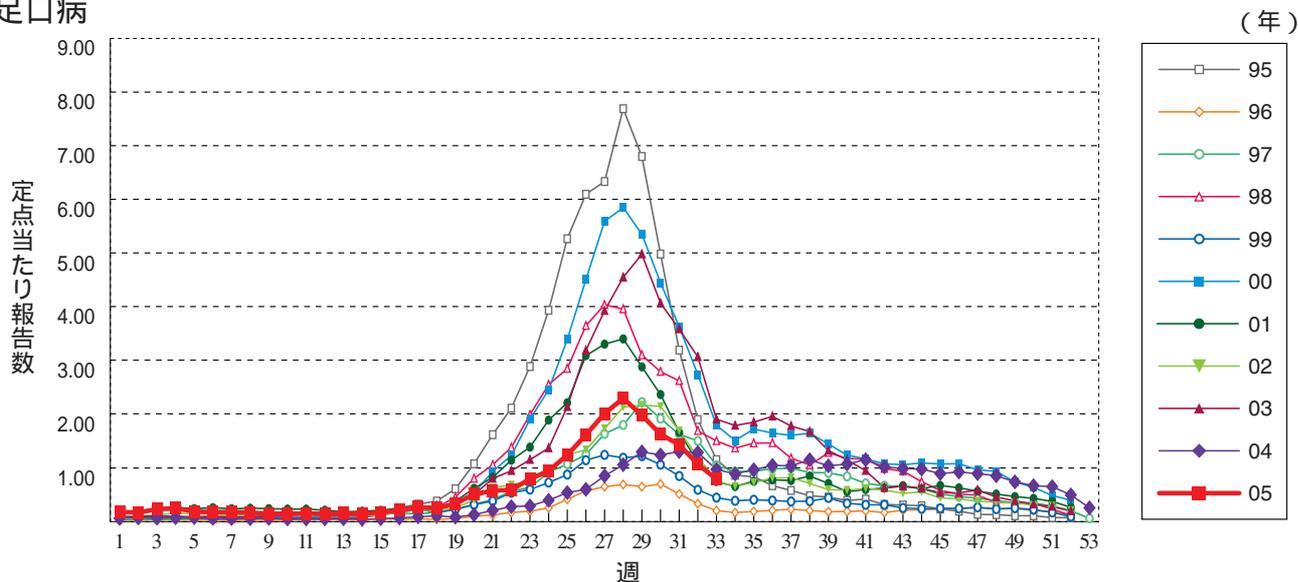
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



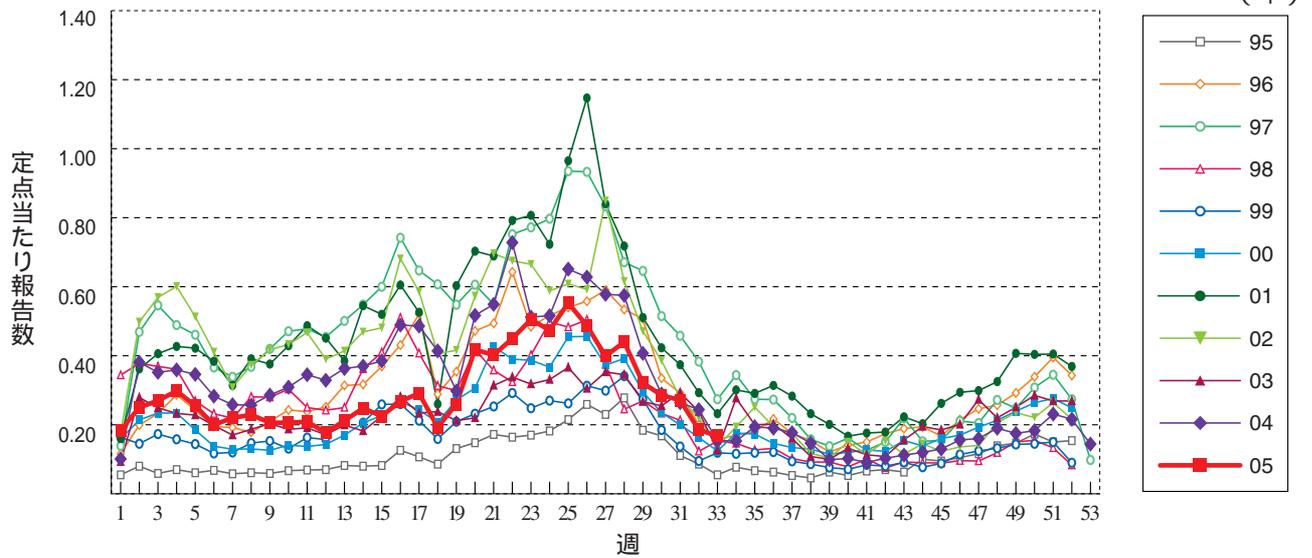
水痘



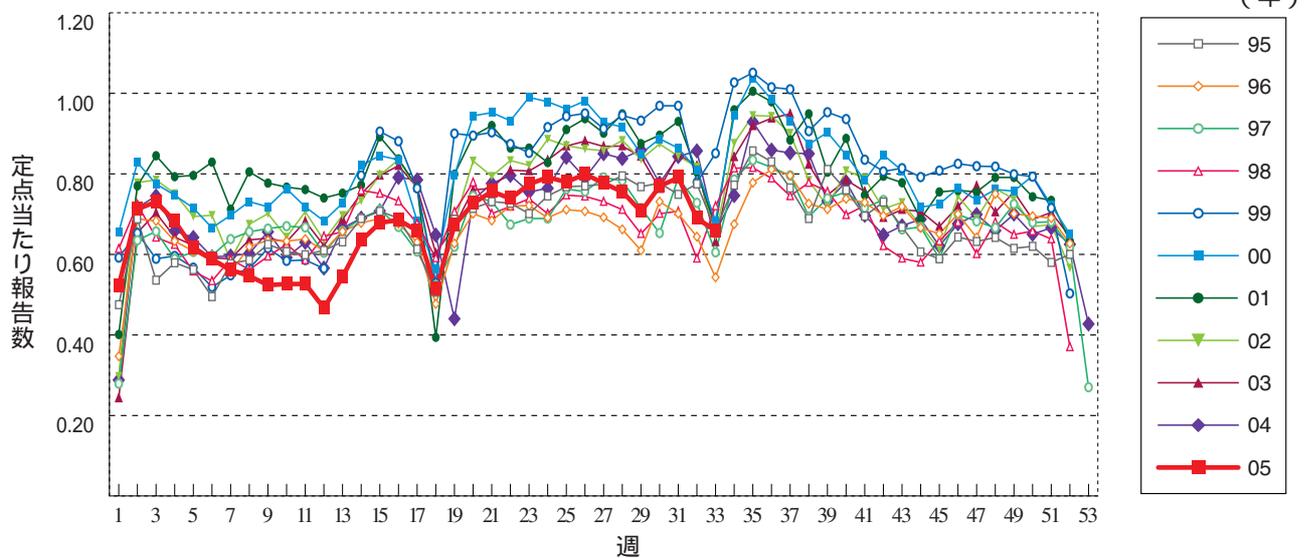
手足口病



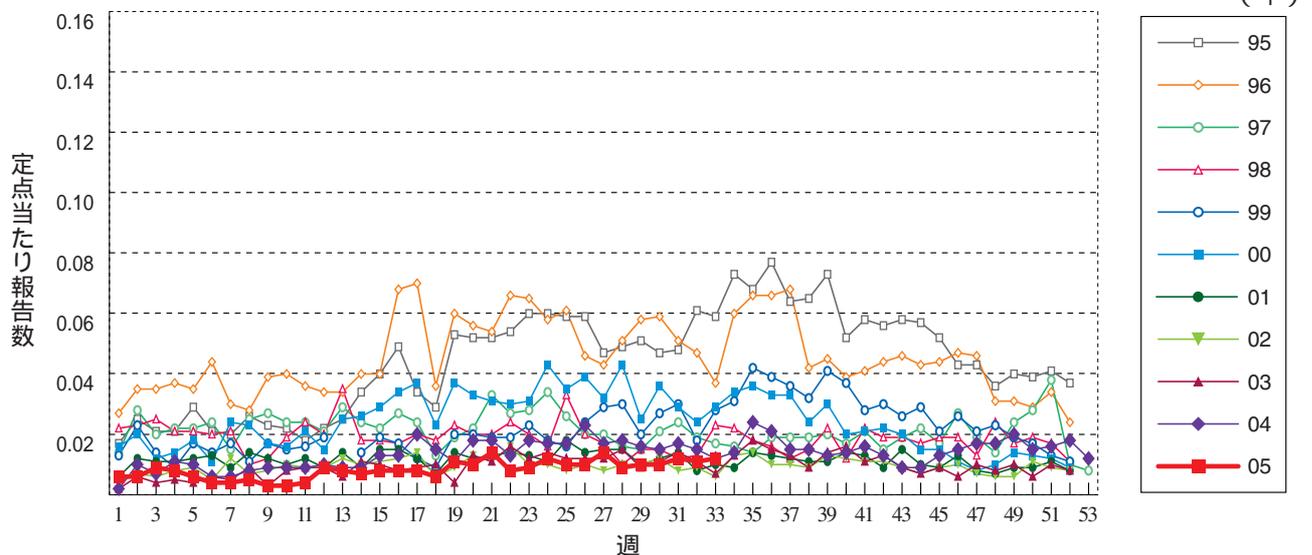
伝染性紅斑



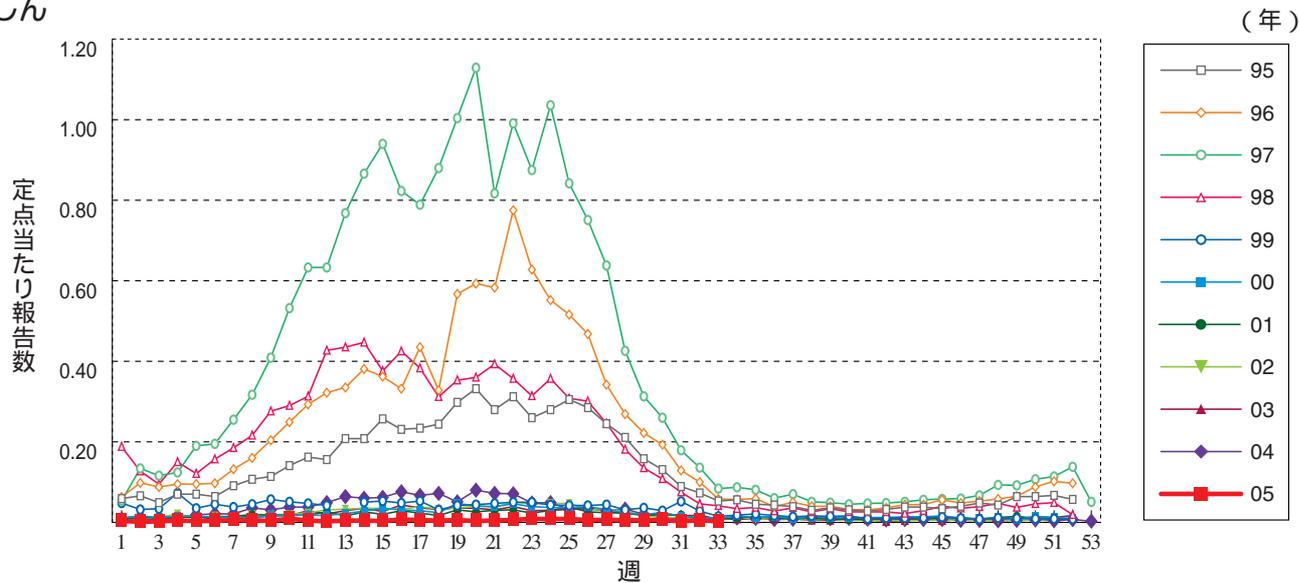
突発性発しん



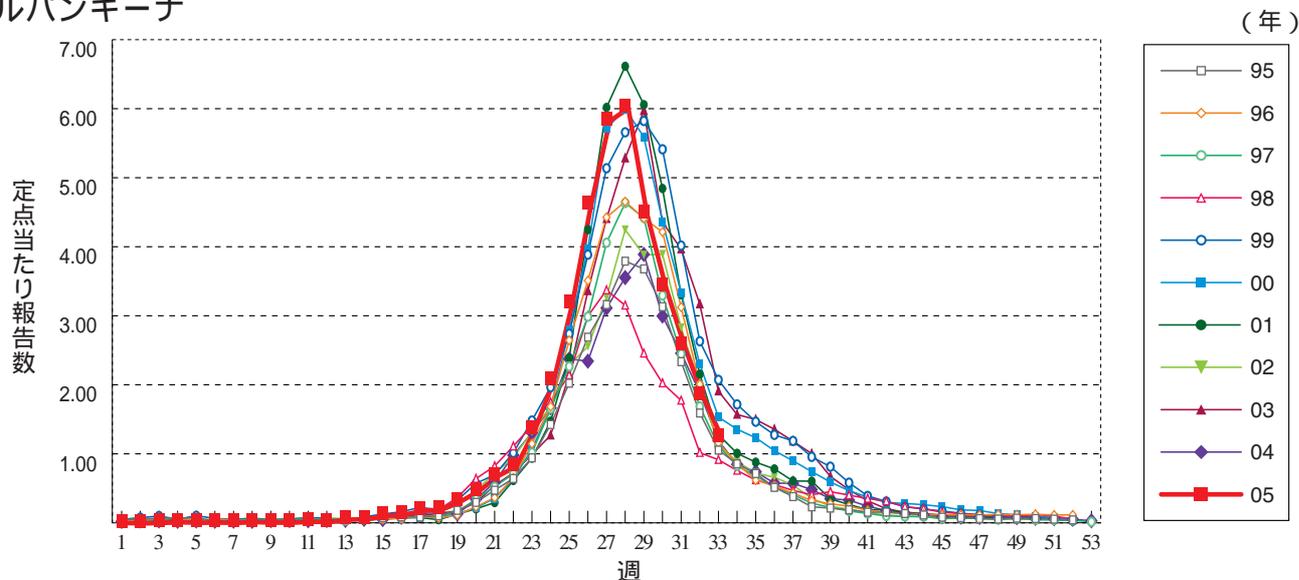
百日咳



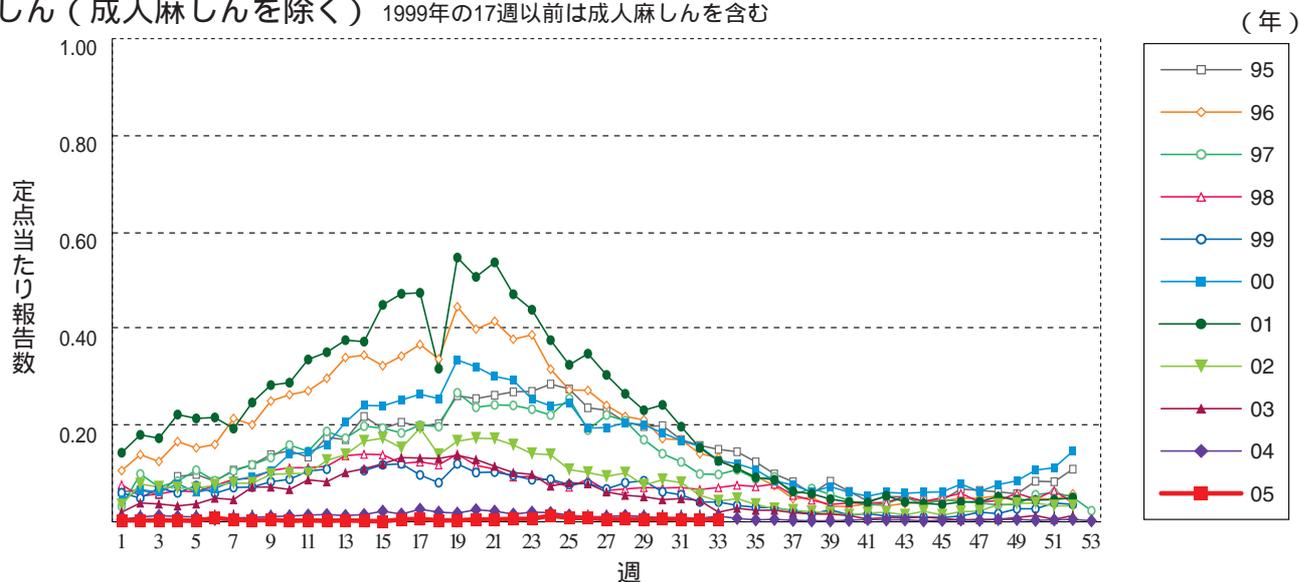
風しん



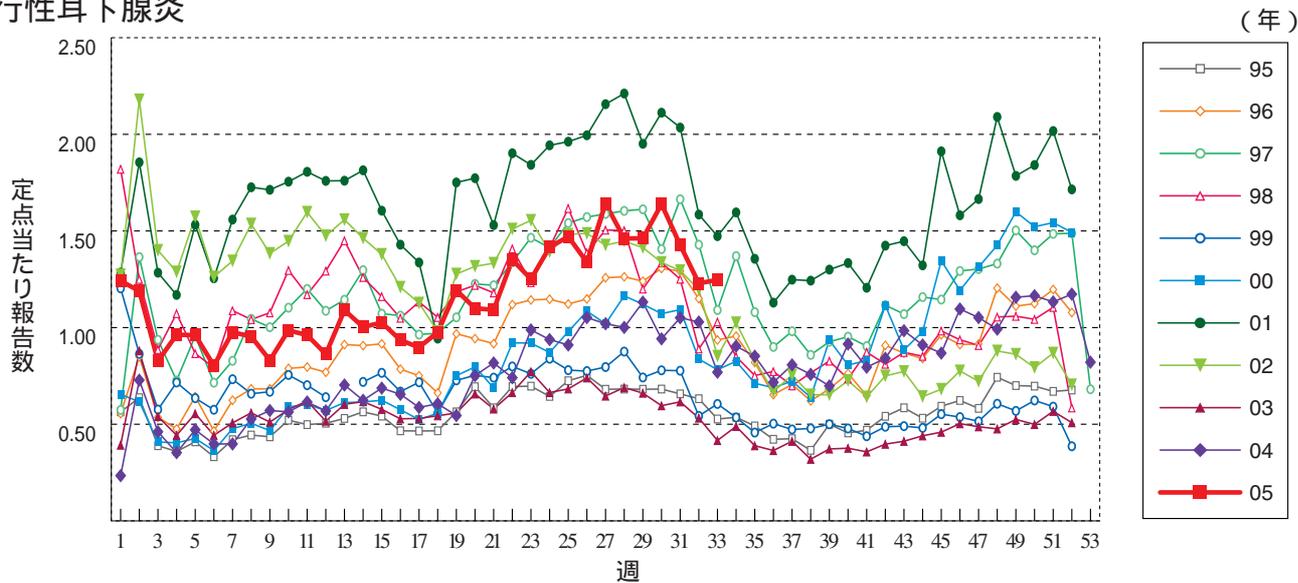
ヘルパンギーナ



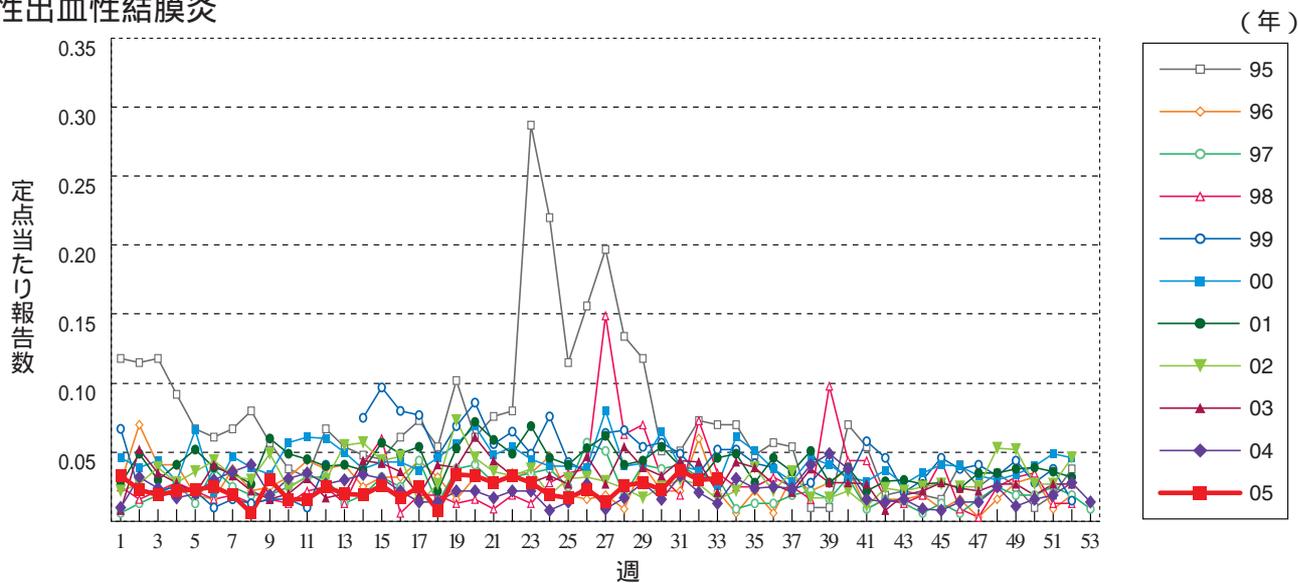
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の17週以前は成人麻しんを含む



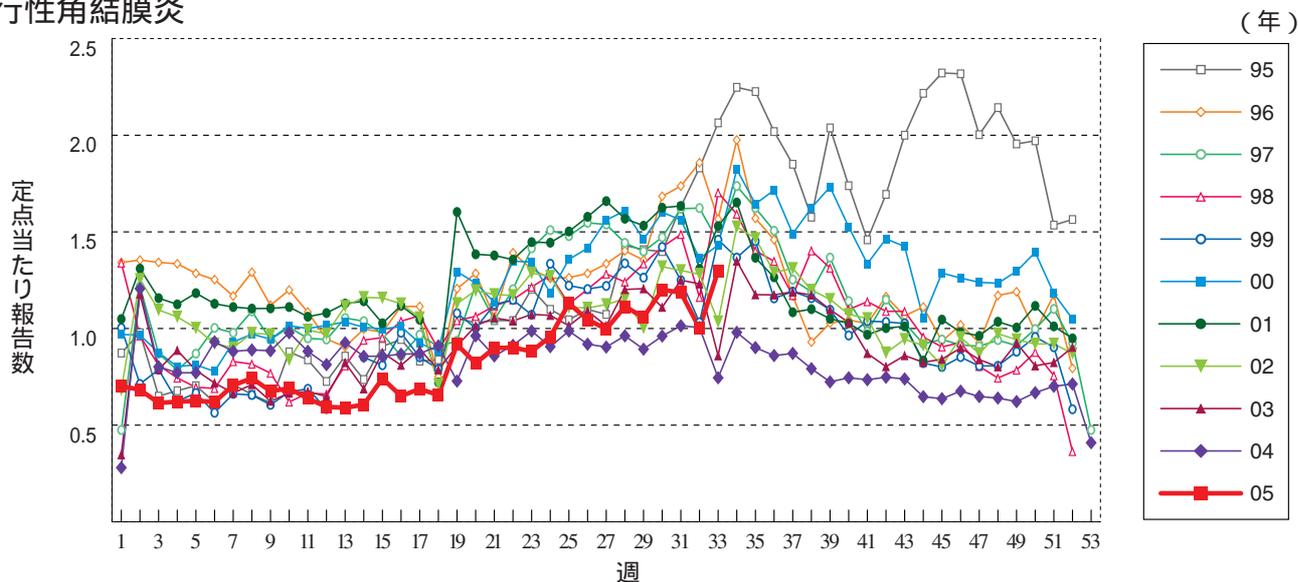
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

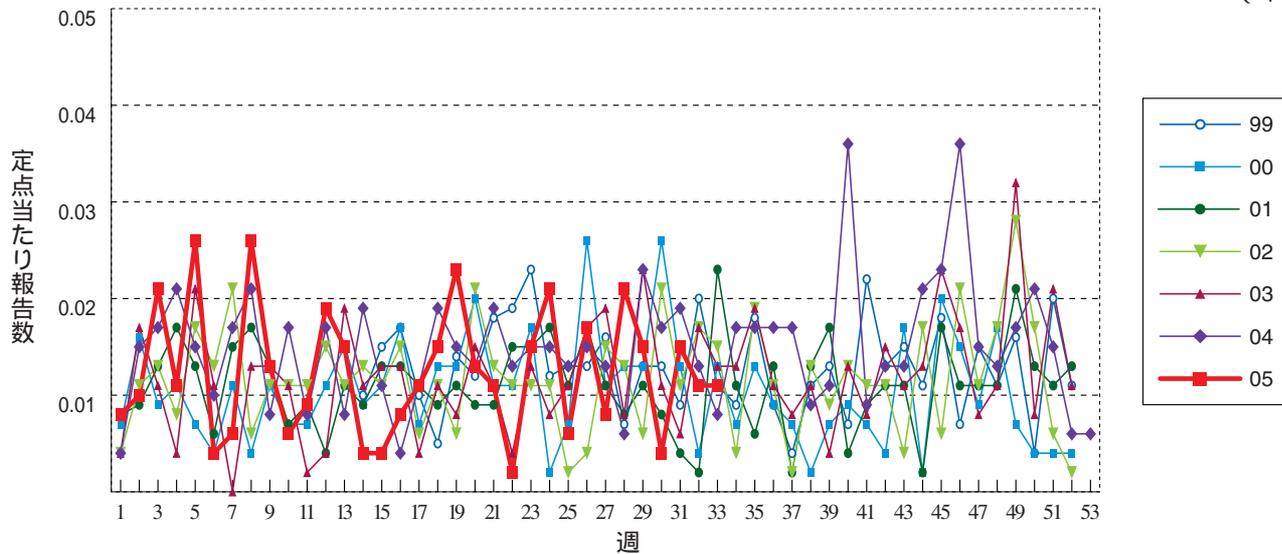


流行性角結膜炎



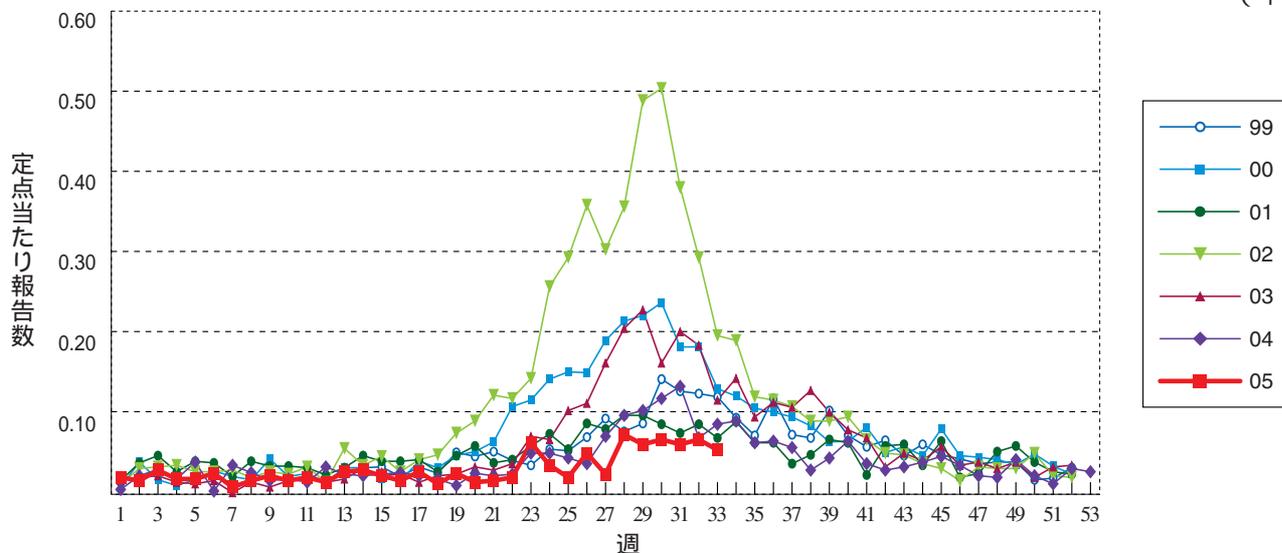
細菌性髄膜炎

(年)



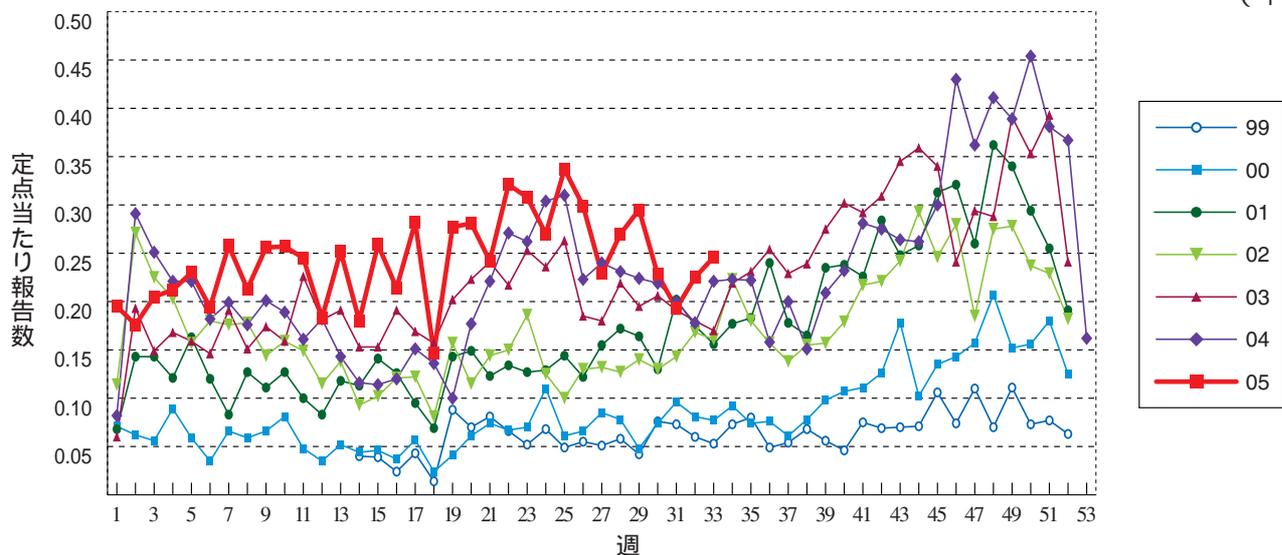
無菌性髄膜炎

(年)



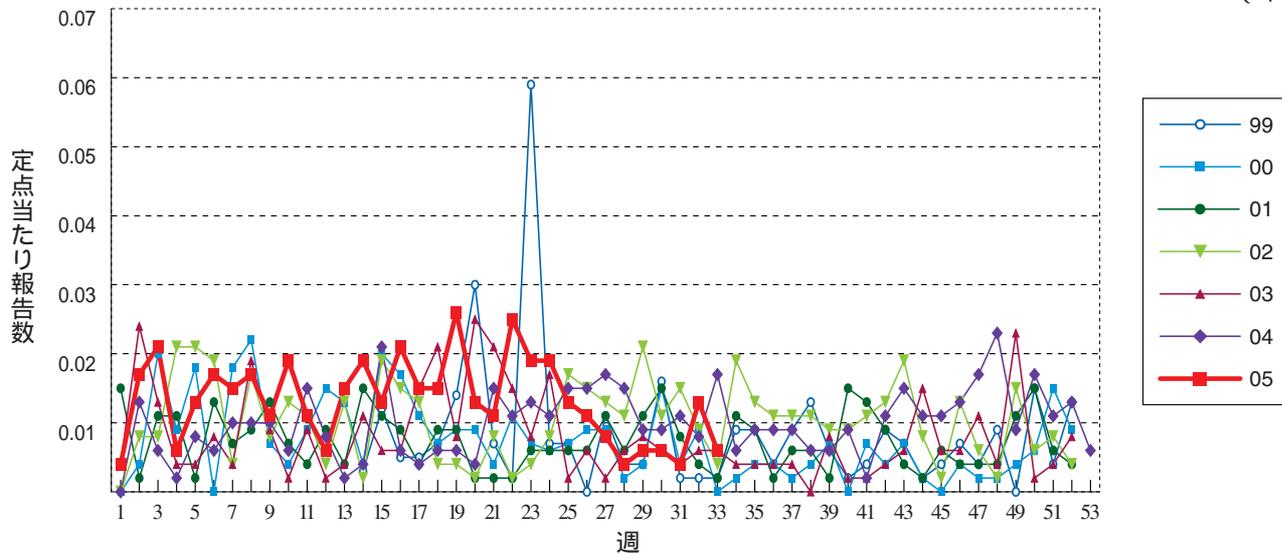
マイコプラズマ肺炎

(年)



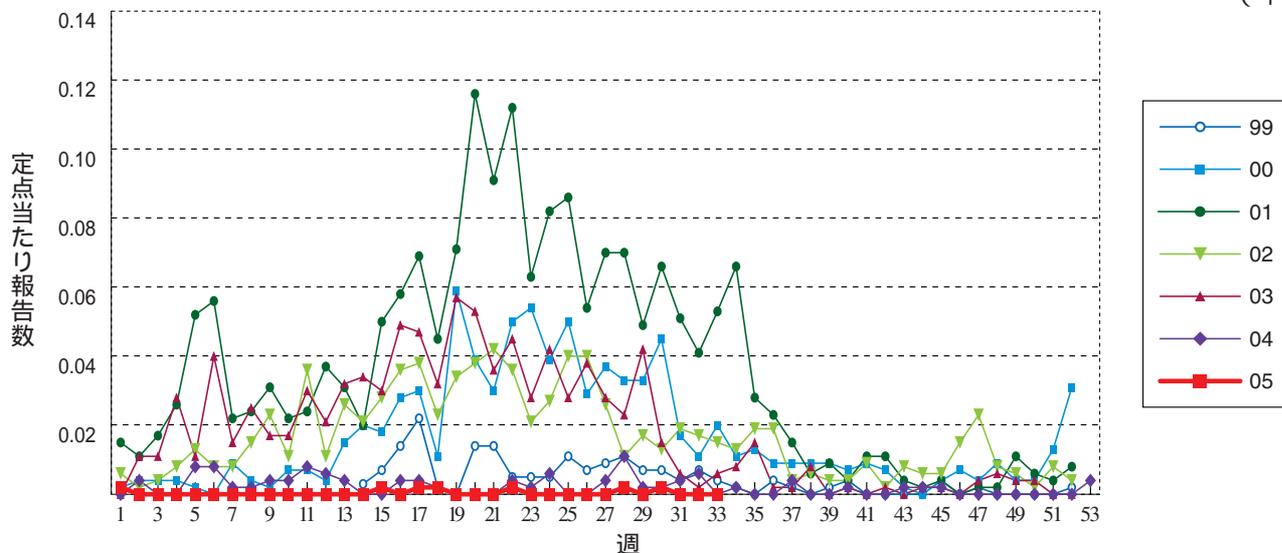
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



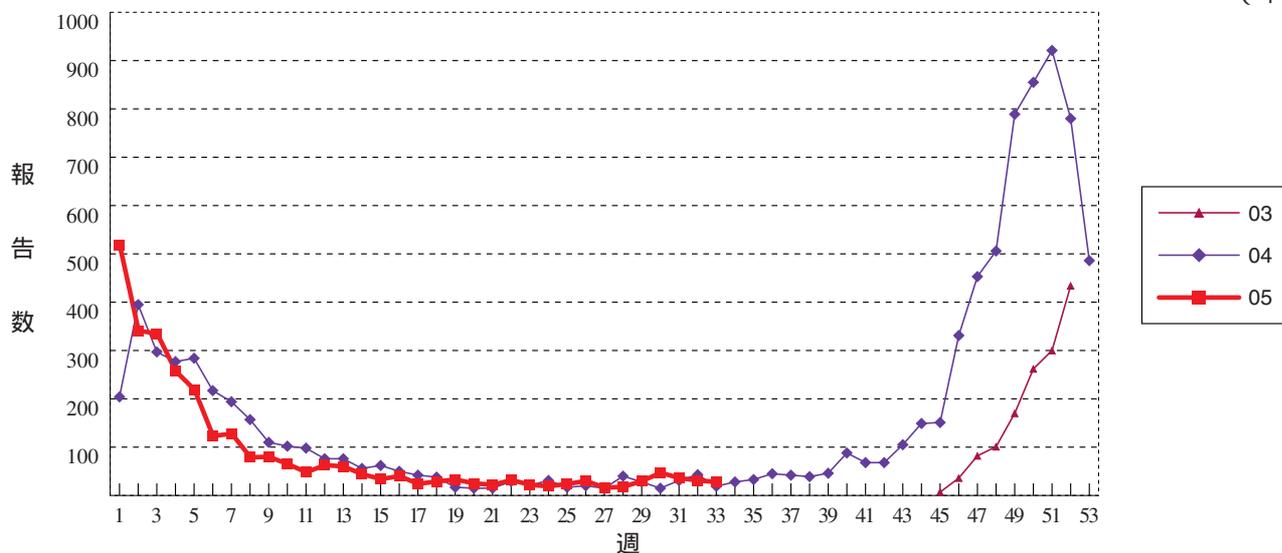
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)

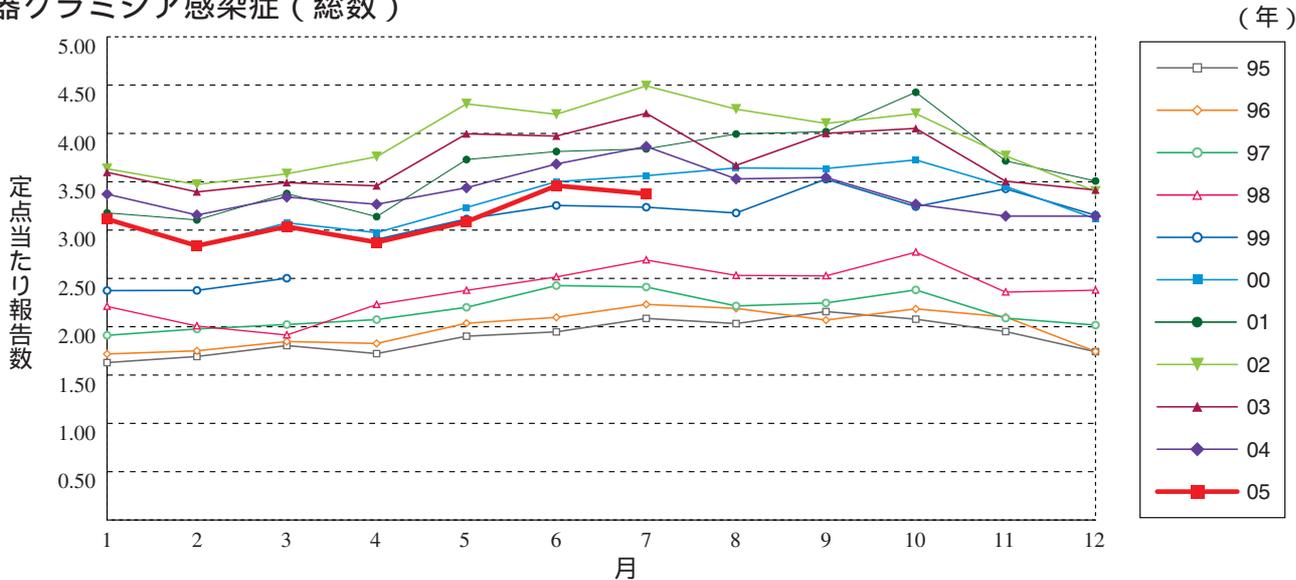




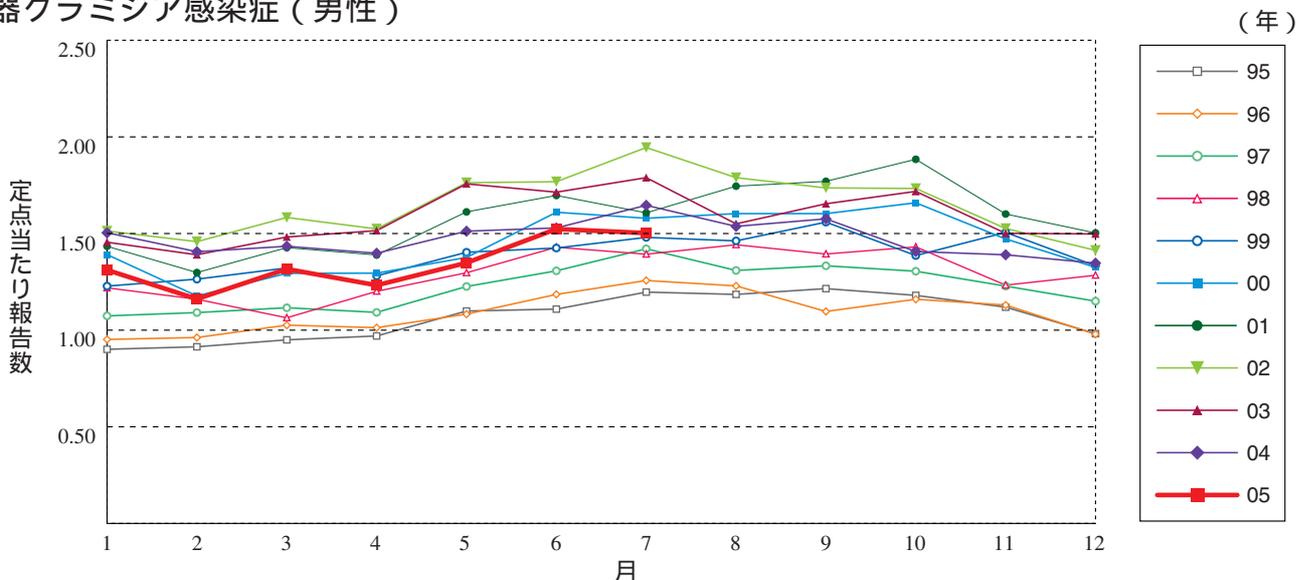
グラフ総覧(7月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

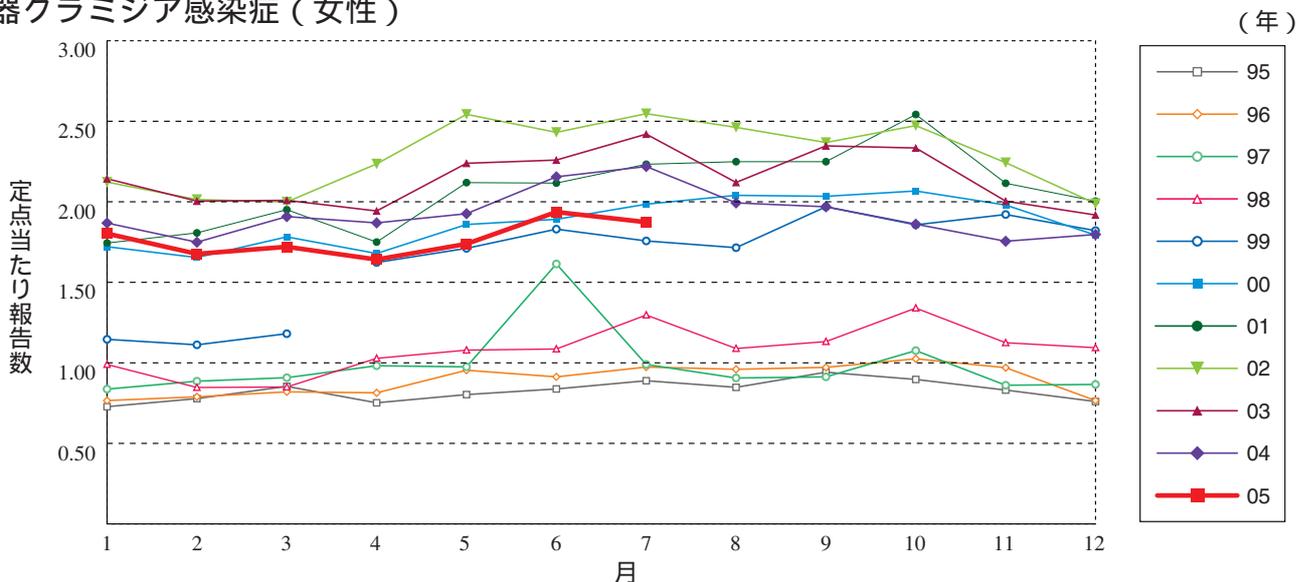
性器クラミジア感染症(総数)



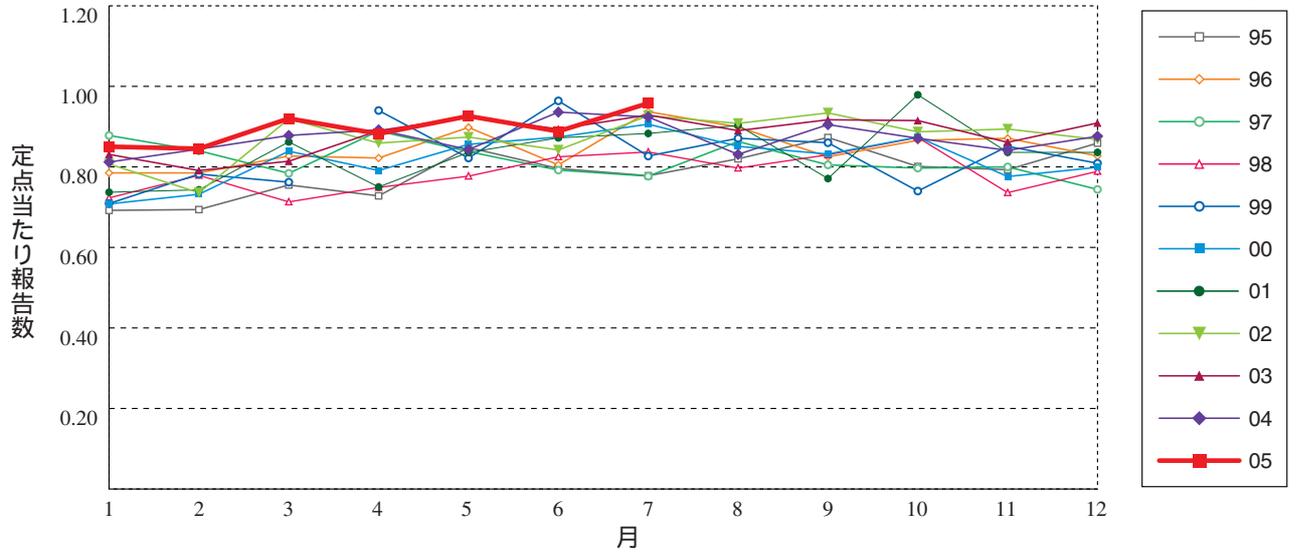
性器クラミジア感染症(男性)



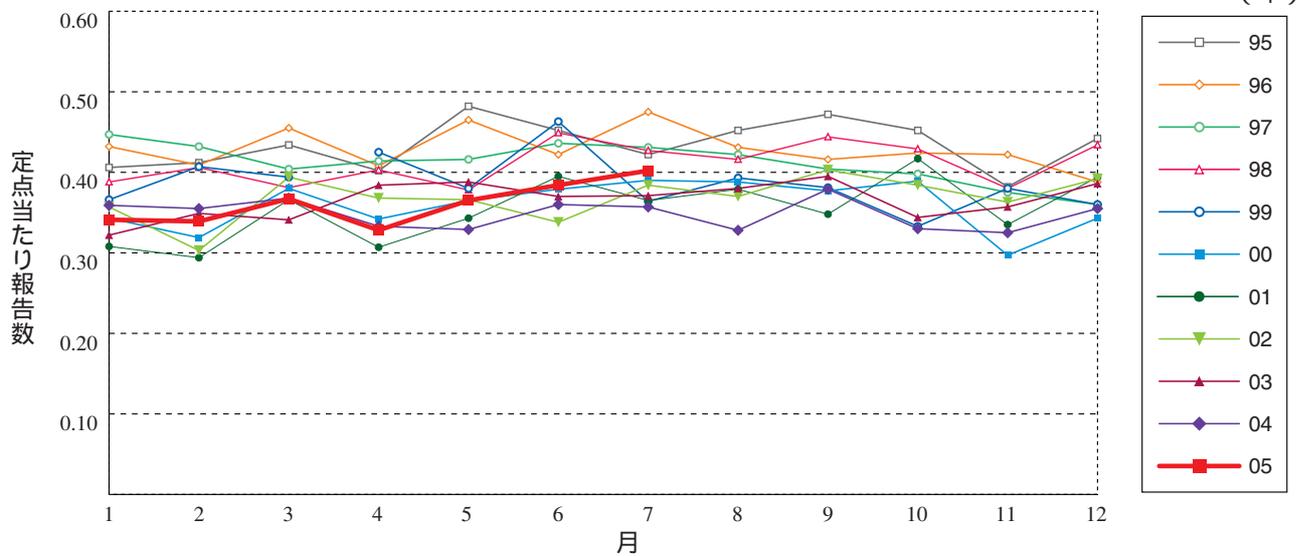
性器クラミジア感染症(女性)



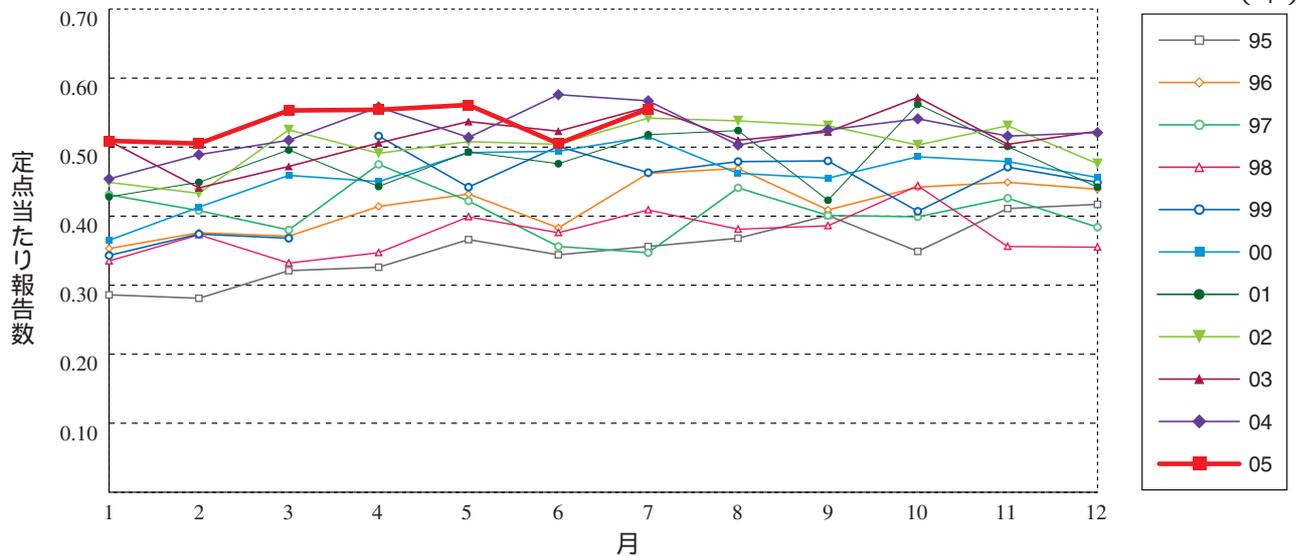
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



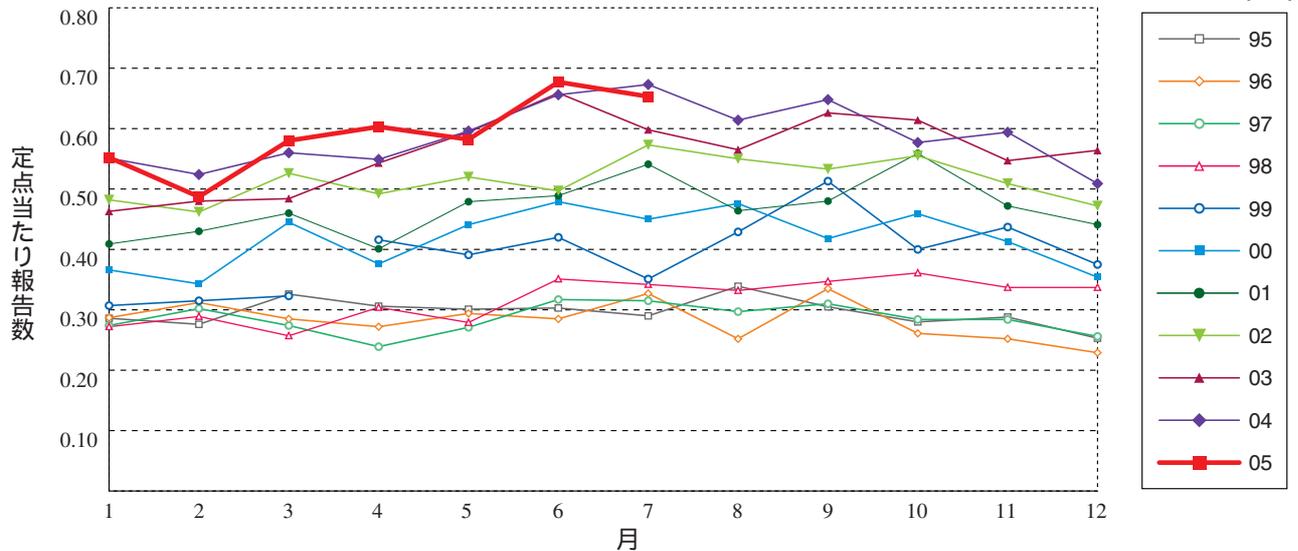
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



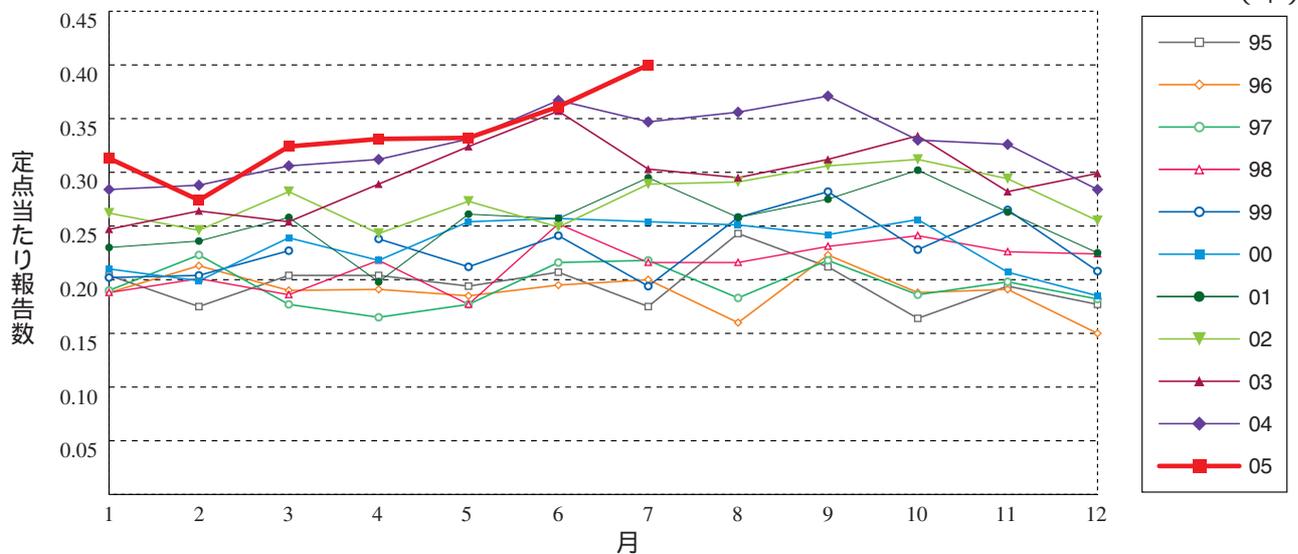
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



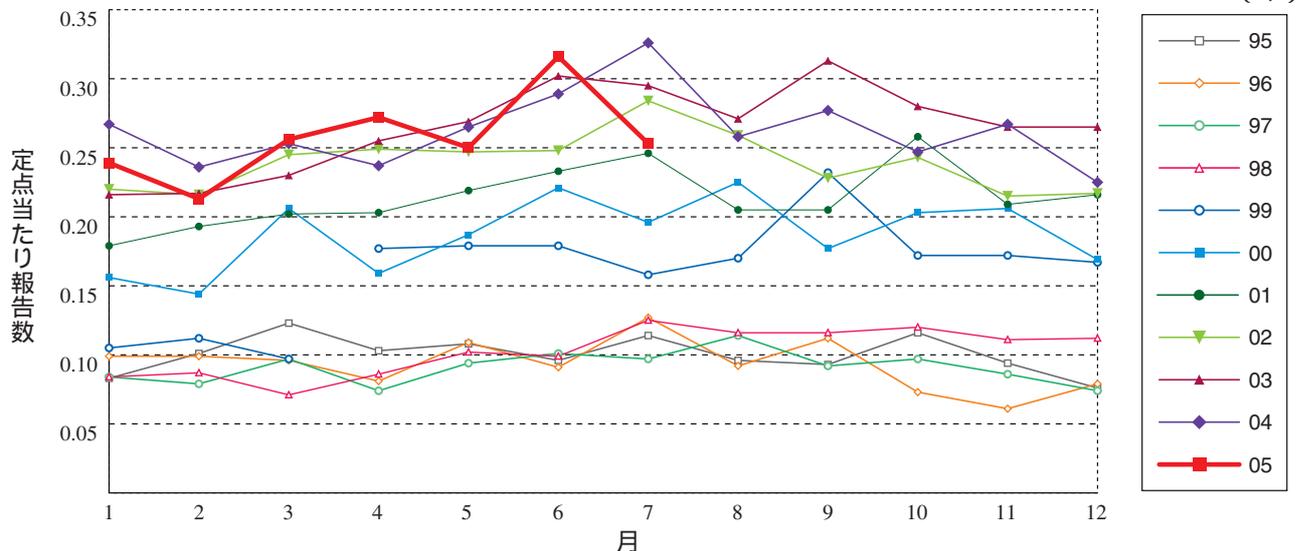
尖圭コンジローマ (総数)



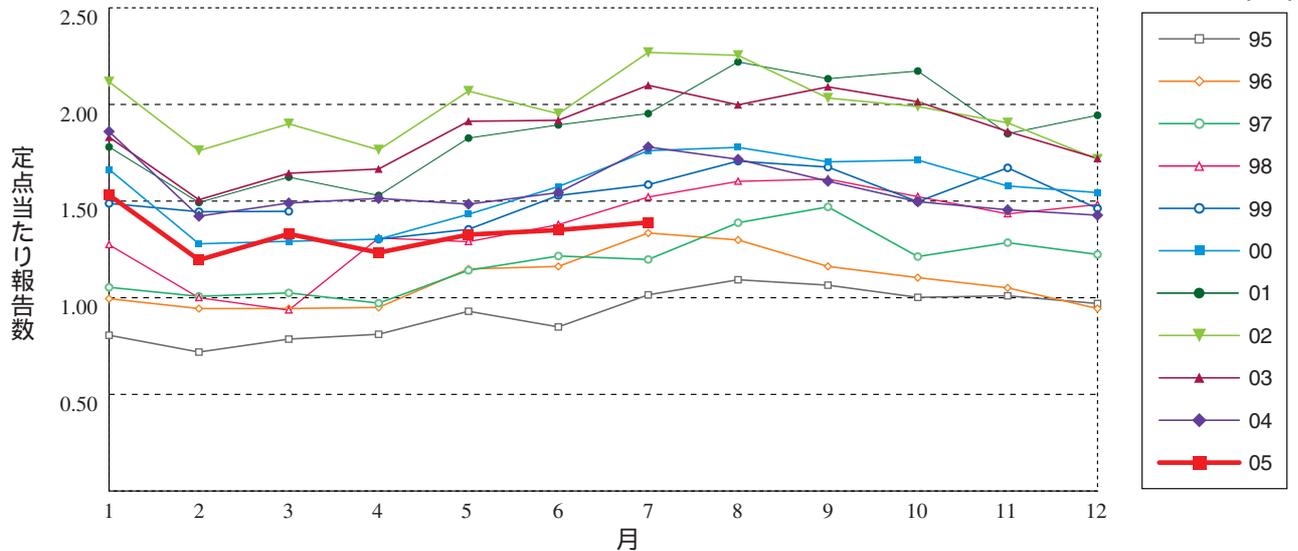
尖圭コンジローマ (男性)



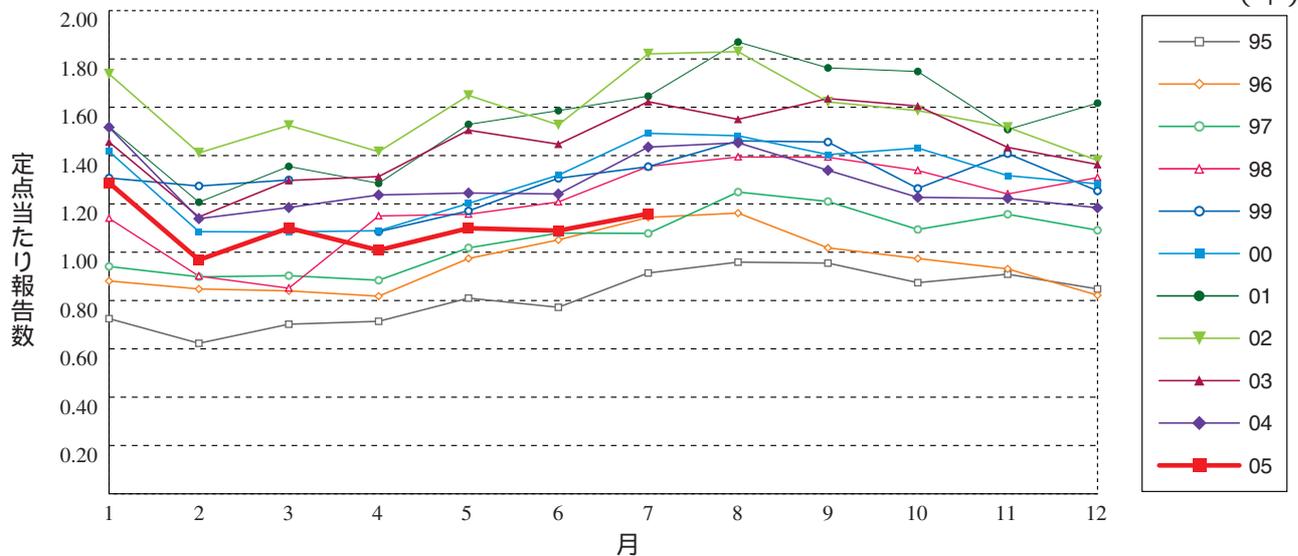
尖圭コンジローマ (女性)



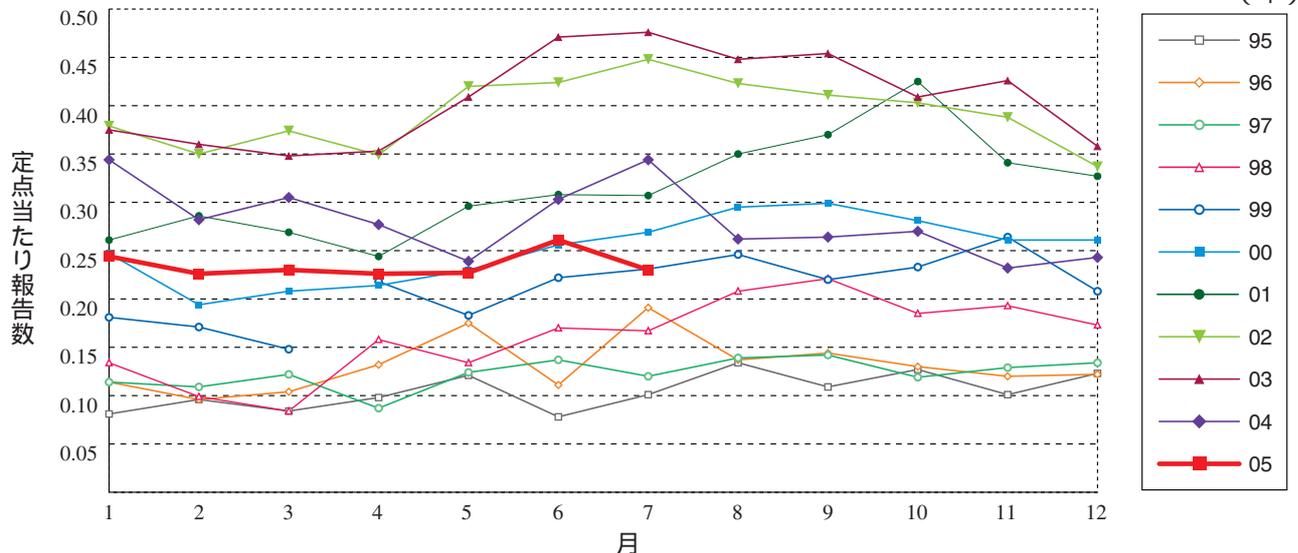
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

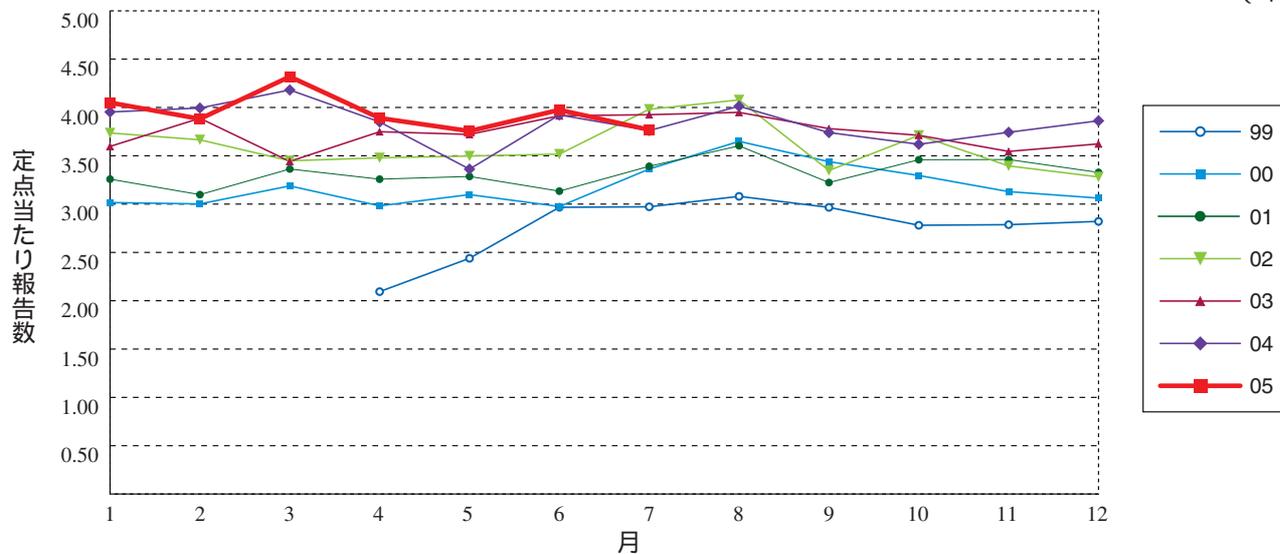


淋菌感染症 (女性)



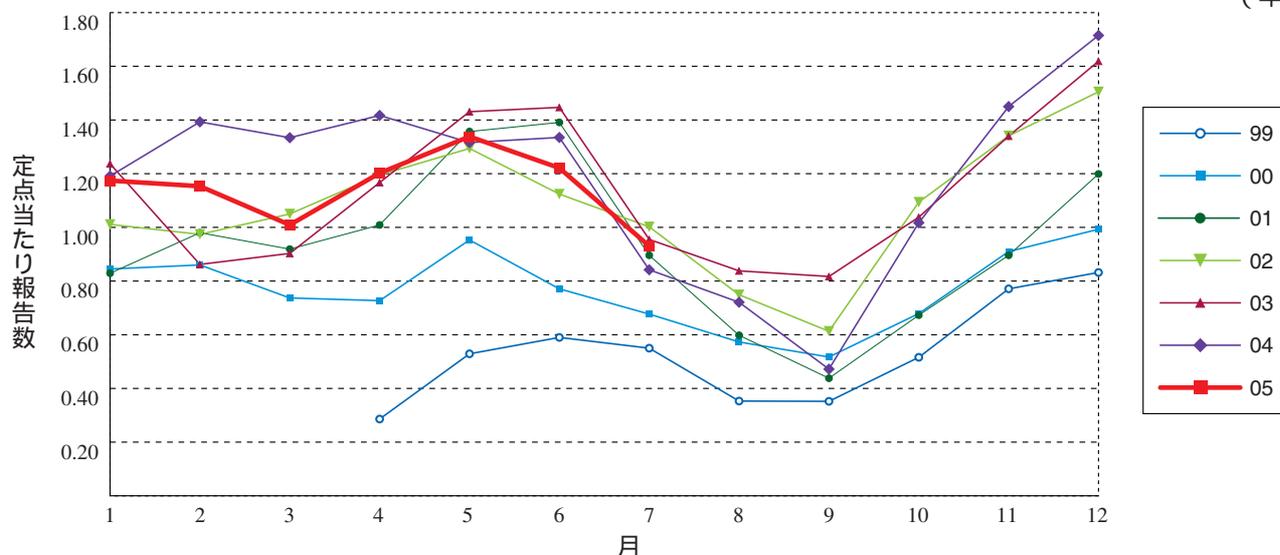
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



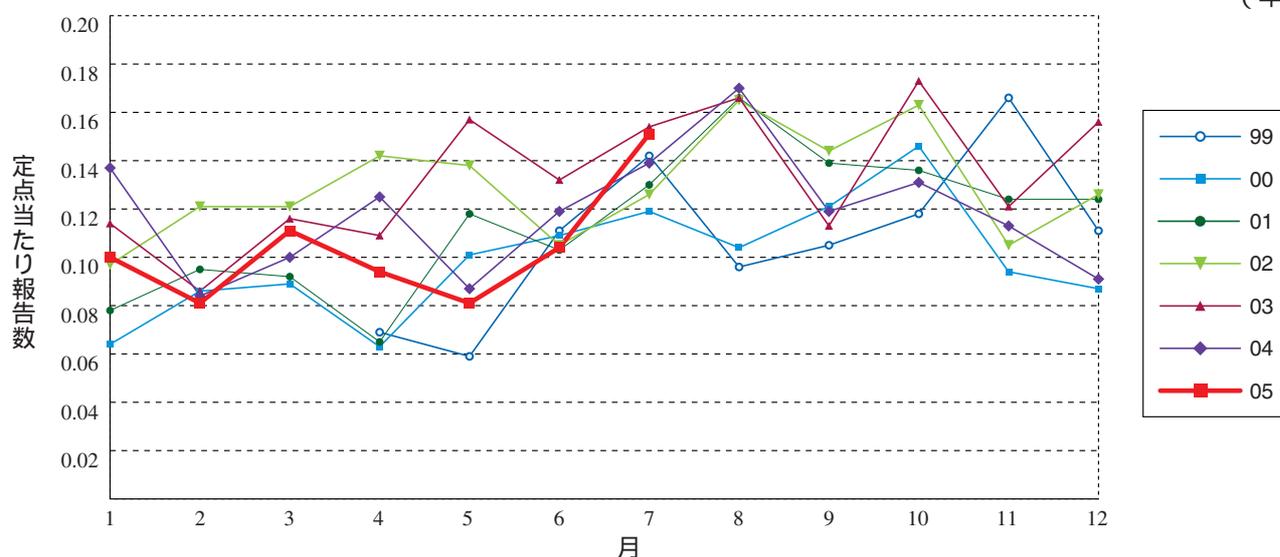
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)





7月のデータ

注) 8月15日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成17年7月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	3105	3.38	881	0.96	601	0.65	1278	1.39	1771	3.77	437	0.93	71	0.15
北海道	240	5.71	46	1.10	27	0.64	63	1.50	45	1.88	8	0.33	3	0.13
青森県	42	3.23	10	0.77	6	0.46	15	1.15	7	1.17	-	-	-	-
岩手県	41	3.15	7	0.54	12	0.92	25	1.92	51	2.55	6	0.30	11	0.55
宮城県	64	3.56	24	1.33	17	0.94	31	1.72	27	2.25	14	1.17	-	-
秋田県	39	2.79	10	0.71	8	0.57	19	1.36	22	2.75	6	0.75	-	-
山形県	31	3.10	6	0.60	8	0.80	4	0.40	42	4.20	12	1.20	-	-
福島県	50	3.13	16	1.00	10	0.63	32	2.00	8	1.14	4	0.57	1	0.14
茨城県	142	6.76	22	1.05	20	0.95	23	1.10	18	1.80	-	-	2	0.20
栃木県	49	3.06	25	1.56	19	1.19	19	1.19	64	9.14	2	0.29	-	-
群馬県	141	5.64	19	0.76	11	0.44	75	3.00	52	5.20	6	0.60	5	0.50
埼玉県	219	4.06	45	0.83	25	0.46	49	0.91	20	2.22	9	1.00	2	0.22
千葉県	138	3.54	35	0.90	19	0.49	45	1.15	38	4.22	77	8.56	1	0.11
東京都	204	4.98	84	2.05	46	1.12	99	2.41	147	5.88	46	1.84	3	0.12
神奈川県	132	2.24	45	0.76	26	0.44	56	0.95	31	2.82	20	1.82	1	0.09
新潟県	24	1.50	11	0.69	4	0.25	27	1.69	44	3.38	10	0.77	1	0.08
富山県	14	2.00	5	0.71	4	0.57	11	1.57	30	6.00	25	5.00	3	0.60
石川県	25	2.50	11	1.10	5	0.50	21	2.10	21	4.20	-	-	-	-
福井県	8	1.60	2	0.40	2	0.40	4	0.80	16	2.67	9	1.50	-	-
山梨県	17	2.83	1	0.17	-	-	3	0.50	16	1.60	9	0.90	4	0.40
長野県	40	2.50	12	0.75	9	0.56	27	1.69	31	2.82	5	0.45	1	0.09
岐阜県	18	1.20	10	0.67	12	0.80	18	1.20	31	6.20	4	0.80	-	-
静岡県	79	2.63	21	0.70	19	0.63	9	0.30	49	4.90	9	0.90	-	-
愛知県	136	2.67	37	0.73	31	0.61	94	1.84	87	6.69	-	-	1	0.08
三重県	23	1.53	7	0.47	3	0.20	12	0.80	50	5.56	-	-	-	-
滋賀県	24	2.67	4	0.44	1	0.11	3	0.33	51	7.29	1	0.14	-	-
京都府	66	3.00	12	0.55	4	0.18	6	0.27	16	2.29	-	-	-	-
大阪府	307	5.20	115	1.95	84	1.42	134	2.27	38	2.71	6	0.43	2	0.14
兵庫県	127	2.76	25	0.54	33	0.72	47	1.02	36	2.77	4	0.31	-	-
奈良県	17	1.89	3	0.33	-	-	9	1.00	39	6.50	4	0.67	2	0.33
和歌山県	13	1.63	7	0.88	5	0.63	2	0.25	47	4.27	2	0.18	-	-
鳥取県	13	2.60	3	0.60	2	0.40	3	0.60	25	5.00	5	1.00	-	-
島根県	15	2.50	4	0.67	2	0.33	7	1.17	33	4.13	14	1.75	1	0.13
岡山県	71	4.18	15	0.88	16	0.94	39	2.29	12	2.40	-	-	3	0.60
広島県	43	1.59	12	0.44	13	0.48	8	0.30	77	3.67	37	1.76	12	0.57
山口県	31	2.58	12	1.00	6	0.50	12	1.00	68	7.56	10	1.11	1	0.11
徳島県	9	1.50	2	0.33	3	0.50	3	0.50	14	2.00	-	-	2	0.29
香川県	29	4.14	11	1.57	6	0.86	8	1.14	29	7.25	4	1.00	-	-
愛媛県	16	1.45	6	0.55	5	0.45	10	0.91	23	3.83	-	-	-	-
高知県	5	0.83	-	-	1	0.17	1	0.17	48	6.86	18	2.57	-	-
福岡県	162	4.15	40	1.03	37	0.95	98	2.51	23	1.44	6	0.38	-	-
佐賀県	17	2.43	11	1.57	1	0.14	13	1.86	27	4.50	5	0.83	1	0.17
長崎県	21	2.10	22	2.20	13	1.30	12	1.20	7	0.58	-	-	1	0.08
熊本県	64	4.92	19	1.46	9	0.69	27	2.08	74	4.93	5	0.33	1	0.07
大分県	10	1.00	14	1.40	1	0.10	11	1.10	43	4.30	15	1.50	3	0.30
宮崎県	30	2.73	8	0.73	1	0.09	12	1.09	25	3.57	9	1.29	-	-
鹿児島県	57	3.56	22	1.38	10	0.63	25	1.56	23	1.92	2	0.17	3	0.25
沖縄県	42	3.50	3	0.25	5	0.42	7	0.58	46	6.57	9	1.29	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成17年7月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1382	1.50	370	0.40	368	0.40	1066	1.16	1090	2.32	262	0.56	48	0.10
北海道	55	1.31	10	0.24	12	0.29	33	0.79	29	1.21	7	0.29	2	0.08
青森県	12	0.92	5	0.38	3	0.23	14	1.08	6	1.00	-	-	-	-
岩手県	23	1.77	3	0.23	11	0.85	22	1.69	35	1.75	4	0.20	8	0.40
宮城県	21	1.17	6	0.33	9	0.50	24	1.33	13	1.08	9	0.75	-	-
秋田県	17	1.21	5	0.36	5	0.36	9	0.64	14	1.75	3	0.38	-	-
山形県	15	1.50	-	-	6	0.60	4	0.40	24	2.40	10	1.00	-	-
福島県	19	1.19	3	0.19	4	0.25	28	1.75	5	0.71	4	0.57	-	-
茨城県	65	3.10	9	0.43	16	0.76	16	0.76	13	1.30	-	-	1	0.10
栃木県	33	2.06	20	1.25	16	1.00	18	1.13	39	5.57	2	0.29	-	-
群馬県	80	3.20	7	0.28	7	0.28	67	2.68	37	3.70	4	0.40	2	0.20
埼玉県	68	1.26	14	0.26	14	0.26	44	0.81	14	1.56	5	0.56	2	0.22
千葉県	66	1.69	14	0.36	13	0.33	38	0.97	23	2.56	45	5.00	-	-
東京都	119	2.90	39	0.95	38	0.93	85	2.07	91	3.64	24	0.96	3	0.12
神奈川県	78	1.32	24	0.41	14	0.24	53	0.90	23	2.09	16	1.45	1	0.09
新潟県	18	1.13	8	0.50	3	0.19	26	1.63	22	1.69	7	0.54	1	0.08
富山県	8	1.14	1	0.14	2	0.29	9	1.29	17	3.40	14	2.80	3	0.60
石川県	16	1.60	6	0.60	4	0.40	20	2.00	16	3.20	-	-	-	-
福井県	6	1.20	1	0.20	2	0.40	4	0.80	14	2.33	5	0.83	-	-
山梨県	7	1.17	-	-	-	-	2	0.33	12	1.20	5	0.50	3	0.30
長野県	21	1.31	7	0.44	6	0.38	25	1.56	25	2.27	5	0.45	-	-
岐阜県	12	0.80	8	0.53	10	0.67	16	1.07	18	3.60	3	0.60	-	-
静岡県	12	0.40	9	0.30	5	0.17	6	0.20	24	2.40	4	0.40	-	-
愛知県	97	1.90	25	0.49	24	0.47	80	1.57	58	4.46	-	-	1	0.08
三重県	10	0.67	3	0.20	1	0.07	12	0.80	32	3.56	-	-	-	-
滋賀県	16	1.78	1	0.11	1	0.11	1	0.11	30	4.29	-	-	-	-
京都府	12	0.55	2	0.09	-	-	4	0.18	12	1.71	-	-	-	-
大阪府	121	2.05	55	0.93	50	0.85	116	1.97	26	1.86	3	0.21	1	0.07
兵庫県	61	1.33	14	0.30	27	0.59	38	0.83	23	1.77	4	0.31	-	-
奈良県	11	1.22	1	0.11	-	-	9	1.00	25	4.17	-	-	1	0.17
和歌山県	6	0.75	1	0.13	3	0.38	2	0.25	27	2.45	-	-	-	-
鳥取県	3	0.60	3	0.60	-	-	3	0.60	19	3.80	2	0.40	-	-
島根県	8	1.33	3	0.50	2	0.33	6	1.00	21	2.63	9	1.13	1	0.13
岡山県	19	1.12	4	0.24	6	0.35	31	1.82	7	1.40	-	-	3	0.60
広島県	15	0.56	7	0.26	2	0.07	6	0.22	38	1.81	21	1.00	7	0.33
山口県	15	1.25	2	0.17	3	0.25	11	0.92	42	4.67	6	0.67	-	-
徳島県	7	1.17	2	0.33	3	0.50	3	0.50	6	0.86	-	-	1	0.14
香川県	10	1.43	4	0.57	5	0.71	6	0.86	13	3.25	3	0.75	-	-
愛媛県	7	0.64	5	0.45	2	0.18	9	0.82	13	2.17	-	-	-	-
高知県	1	0.17	-	-	-	-	1	0.17	32	4.57	13	1.86	-	-
福岡県	95	2.44	17	0.44	24	0.62	91	2.33	18	1.13	4	0.25	-	-
佐賀県	14	2.00	1	0.14	-	-	12	1.71	12	2.00	2	0.33	1	0.17
長崎県	8	0.80	2	0.20	5	0.50	8	0.80	6	0.50	-	-	1	0.08
熊本県	19	1.46	1	0.08	4	0.31	20	1.54	40	2.67	3	0.20	1	0.07
大分県	5	0.50	4	0.40	-	-	7	0.70	22	2.20	6	0.60	2	0.20
宮崎県	21	1.91	2	0.18	1	0.09	11	1.00	21	3.00	6	0.86	-	-
鹿児島県	25	1.56	12	0.75	4	0.25	13	0.81	10	0.83	1	0.08	2	0.17
沖縄県	5	0.42	-	-	1	0.08	3	0.25	23	3.29	3	0.43	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成17年7月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1723	1.87	511	0.56	233	0.25	212	0.23	681	1.45	175	0.37	23	0.05
北海道	185	4.40	36	0.86	15	0.36	30	0.71	16	0.67	1	0.04	1	0.04
青森県	30	2.31	5	0.38	3	0.23	1	0.08	1	0.17	-	-	-	-
岩手県	18	1.38	4	0.31	1	0.08	3	0.23	16	0.80	2	0.10	3	0.15
宮城県	43	2.39	18	1.00	8	0.44	7	0.39	14	1.17	5	0.42	-	-
秋田県	22	1.57	5	0.36	3	0.21	10	0.71	8	1.00	3	0.38	-	-
山形県	16	1.60	6	0.60	2	0.20	-	-	18	1.80	2	0.20	-	-
福島県	31	1.94	13	0.81	6	0.38	4	0.25	3	0.43	-	-	1	0.14
茨城県	77	3.67	13	0.62	4	0.19	7	0.33	5	0.50	-	-	1	0.10
栃木県	16	1.00	5	0.31	3	0.19	1	0.06	25	3.57	-	-	-	-
群馬県	61	2.44	12	0.48	4	0.16	8	0.32	15	1.50	2	0.20	3	0.30
埼玉県	151	2.80	31	0.57	11	0.20	5	0.09	6	0.67	4	0.44	-	-
千葉県	72	1.85	21	0.54	6	0.15	7	0.18	15	1.67	32	3.56	1	0.11
東京都	85	2.07	45	1.10	8	0.20	14	0.34	56	2.24	22	0.88	-	-
神奈川県	54	0.92	21	0.36	12	0.20	3	0.05	8	0.73	4	0.36	-	-
新潟県	6	0.38	3	0.19	1	0.06	1	0.06	22	1.69	3	0.23	-	-
富山県	6	0.86	4	0.57	2	0.29	2	0.29	13	2.60	11	2.20	-	-
石川県	9	0.90	5	0.50	1	0.10	1	0.10	5	1.00	-	-	-	-
福井県	2	0.40	1	0.20	-	-	-	-	2	0.33	4	0.67	-	-
山梨県	10	1.67	1	0.17	-	-	1	0.17	4	0.40	4	0.40	1	0.10
長野県	19	1.19	5	0.31	3	0.19	2	0.13	6	0.55	-	-	1	0.09
岐阜県	6	0.40	2	0.13	2	0.13	2	0.13	13	2.60	1	0.20	-	-
静岡県	67	2.23	12	0.40	14	0.47	3	0.10	25	2.50	5	0.50	-	-
愛知県	39	0.76	12	0.24	7	0.14	14	0.27	29	2.23	-	-	-	-
三重県	13	0.87	4	0.27	2	0.13	-	-	18	2.00	-	-	-	-
滋賀県	8	0.89	3	0.33	-	-	2	0.22	21	3.00	1	0.14	-	-
京都府	54	2.45	10	0.45	4	0.18	2	0.09	4	0.57	-	-	-	-
大阪府	186	3.15	60	1.02	34	0.58	18	0.31	12	0.86	3	0.21	1	0.07
兵庫県	66	1.43	11	0.24	6	0.13	9	0.20	13	1.00	-	-	-	-
奈良県	6	0.67	2	0.22	-	-	-	-	14	2.33	4	0.67	1	0.17
和歌山県	7	0.88	6	0.75	2	0.25	-	-	20	1.82	2	0.18	-	-
鳥取県	10	2.00	-	-	2	0.40	-	-	6	1.20	3	0.60	-	-
島根県	7	1.17	1	0.17	-	-	1	0.17	12	1.50	5	0.63	-	-
岡山県	52	3.06	11	0.65	10	0.59	8	0.47	5	1.00	-	-	-	-
広島県	28	1.04	5	0.19	11	0.41	2	0.07	39	1.86	16	0.76	5	0.24
山口県	16	1.33	10	0.83	3	0.25	1	0.08	26	2.89	4	0.44	1	0.11
徳島県	2	0.33	-	-	-	-	-	-	8	1.14	-	-	1	0.14
香川県	19	2.71	7	1.00	1	0.14	2	0.29	16	4.00	1	0.25	-	-
愛媛県	9	0.82	1	0.09	3	0.27	1	0.09	10	1.67	-	-	-	-
高知県	4	0.67	-	-	1	0.17	-	-	16	2.29	5	0.71	-	-
福岡県	67	1.72	23	0.59	13	0.33	7	0.18	5	0.31	2	0.13	-	-
佐賀県	3	0.43	10	1.43	1	0.14	1	0.14	15	2.50	3	0.50	-	-
長崎県	13	1.30	20	2.00	8	0.80	4	0.40	1	0.08	-	-	-	-
熊本県	45	3.46	18	1.38	5	0.38	7	0.54	34	2.27	2	0.13	-	-
大分県	5	0.50	10	1.00	1	0.10	4	0.40	21	2.10	9	0.90	1	0.10
宮崎県	9	0.82	6	0.55	-	-	1	0.09	4	0.57	3	0.43	-	-
鹿児島県	32	2.00	10	0.63	6	0.38	12	0.75	13	1.08	1	0.08	1	0.08
沖縄県	37	3.08	3	0.25	4	0.33	4	0.33	23	3.29	6	0.86	-	-

注)8月24日集計分

新登録患者数・都道府県別

平成17年7月

	結 核
	報告数
総 数	2484
北海道	88
青森県	22
岩手県	13
宮城県	29
秋田県	14
山形県	14
福島県	23
茨城県	40
栃木県	36
群馬県	20
埼玉県	103
千葉県	107
東京都	337
神奈川県	164
新潟県	30
富山県	23
石川県	16
福井県	15
山梨県	13
長野県	17
岐阜県	43
静岡県	79
愛知県	179
三重県	22
滋賀県	26
京都府	56
大阪府	278
兵庫県	128
奈良県	27
和歌山県	29
鳥取県	14
島根県	14
岡山県	37
広島県	36
山口県	35
徳島県	20
香川県	25
愛媛県	30
高知県	8
福岡県	96
佐賀県	17
長崎県	37
熊本県	28
大分県	27
宮崎県	14
鹿児島県	29
沖縄県	26



33週のデータ

注)表中の報告数は8月25日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成17年33週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	7	350	1	32	1	10		
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	4	-	-		
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1		
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-		
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-		
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	2	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-		
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	13	-	1	-	-		
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	28	-	3	-	1		
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	53	1	5	-	3		
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	18	-	1	-	1		
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-		
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-		
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	1	-	-		
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	56	-	4	1	3		
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-		
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-		
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	56	-	5	-	1		
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	7	-	-	-	-		
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-		
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-		
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-		
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	1	-	-		
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	23	-	1	-	-		
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-		
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-		

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年33週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	165	2000	10	441	-	12	-	-	-	26	-	-	2	185
北海道	-	-	-	-	4	113	-	9	-	11	-	-	-	1	-	-	-	8
青森県	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	5	38	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	6	68	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
秋田県	-	-	-	-	5	40	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	1	13	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	1	13	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	20	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	3	15	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	33	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	13	85	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	4	91	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	18	128	4	123	-	1	-	-	-	2	-	-	-	26
神奈川県	-	-	-	-	2	71	-	37	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11
新潟県	-	-	-	-	1	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	1	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	19	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	17	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	3	33	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	1	41	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	-	7	46	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	9	106	1	33	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	5	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	2	10	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	31	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	17	130	1	57	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19
兵庫県	-	-	-	-	3	67	1	18	-	-	-	-	-	5	-	-	1	19
奈良県	-	-	-	-	3	26	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	1	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	39	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	9	79	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	4	34	-	9	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7
山口県	-	-	-	-	3	33	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	2	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	4	13	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	12	98	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
佐賀県	-	-	-	-	-	39	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	6	43	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	1	32	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	83	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	73	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
鹿児島県	-	-	-	-	8	32	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	1	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年33週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	8	-	-	-	5	4	90	-	38	11	736	-	2	1	45	-	-
北海道	-	1	-	-	-	3	-	5	-	-	-	12	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	1	2	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	16	-	-	-	3	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	9	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	20	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	8	-	1	1	31	-	-	-	2	-	-
東京都	-	3	-	-	-	1	-	11	-	2	1	264	-	-	-	8	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	1	-	6	-	2	-	36	-	1	-	7	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	1	22	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	3	49	-	-	1	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	3	-	5	1	88	-	-	-	5	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	1	19	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	18	-	-	-	5	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年33週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	8	-	-	-	-	-	104	1	27	1	29	-	-	9	335	1	61
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	6	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2
山形県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	4	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	6	-	3
東京都	-	3	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	2	49	-	1
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	17	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	13	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	30	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	8	-	2
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	47	-	1
兵庫県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7	-	-	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	5	1	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	4
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	4	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	19	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	17	-	3
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	3	-	-	1	5	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	7	-	-	-	10	-	6
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年33週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	48	-	-	-	-	-	1	-	-	1	44	-	5	5	139
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
東京都	-	8	-	-	-	-	1	-	-	-	11	-	3	2	14	
神奈川県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	3	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	3	
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	1	9	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
滋賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
京都府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
大阪府	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	11	
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
和歌山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年33週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	31	-	-	1	132	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	-	-	5	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	4	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	3	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年33週

	野 兎 病		リッサウイルス 感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	4	-	129	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	-	13	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	-	15	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日: 平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成17年33週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	143	0.03	1371	0.45	1101	0.36	5966	1.98	1784	0.59	2388	0.79	508	0.17	1990	0.66	37	0.01
北海道	-	-	37	0.26	89	0.61	156	1.08	93	0.64	80	0.55	11	0.08	92	0.63	-	-
青森県	-	-	12	0.29	11	0.26	27	0.64	19	0.45	91	2.17	22	0.52	14	0.33	-	-
岩手県	-	-	2	0.05	8	0.22	66	1.78	12	0.32	38	1.03	4	0.11	30	0.81	-	-
宮城県	-	-	12	0.20	7	0.11	108	1.77	39	0.64	54	0.89	19	0.31	36	0.59	-	-
秋田県	-	-	22	0.65	13	0.38	76	2.24	16	0.47	19	0.56	11	0.32	28	0.82	1	0.03
山形県	-	-	28	0.93	21	0.70	33	1.10	19	0.63	15	0.50	5	0.17	32	1.07	1	0.03
福島県	-	-	21	0.44	21	0.44	97	2.02	26	0.54	70	1.46	23	0.48	35	0.73	1	0.02
茨城県	4	0.03	16	0.22	41	0.55	86	1.16	59	0.80	51	0.69	15	0.20	32	0.43	-	-
栃木県	-	-	6	0.13	14	0.30	59	1.28	31	0.67	42	0.91	8	0.17	30	0.65	-	-
群馬県	-	-	11	0.18	36	0.58	145	2.34	48	0.77	107	1.73	4	0.06	48	0.77	2	0.03
埼玉県	4	0.02	53	0.37	45	0.31	295	2.05	119	0.83	85	0.59	28	0.19	97	0.67	-	-
千葉県	1	0.00	18	0.14	48	0.38	146	1.15	84	0.66	36	0.28	22	0.17	77	0.61	3	0.02
東京都	-	-	54	0.38	24	0.17	183	1.29	29	0.20	41	0.29	21	0.15	48	0.34	-	-
神奈川県	-	-	40	0.20	45	0.23	295	1.50	107	0.54	103	0.52	55	0.28	100	0.51	4	0.02
新潟県	1	0.01	16	0.26	24	0.39	69	1.11	52	0.84	225	3.63	8	0.13	62	1.00	-	-
富山県	-	-	6	0.21	11	0.38	77	2.66	14	0.48	26	0.90	5	0.17	16	0.55	-	-
石川県	-	-	22	0.76	18	0.62	66	2.28	13	0.45	2	0.07	6	0.21	17	0.59	-	-
福井県	-	-	12	0.55	13	0.59	127	5.77	15	0.68	2	0.09	2	0.09	20	0.91	-	-
山梨県	-	-	19	0.76	9	0.36	31	1.24	25	1.00	12	0.48	5	0.20	4	0.16	-	-
長野県	1	0.01	35	0.64	21	0.38	100	1.82	33	0.60	47	0.85	13	0.24	30	0.55	-	-
岐阜県	-	-	25	0.47	16	0.30	40	0.75	44	0.83	11	0.21	4	0.08	21	0.40	-	-
静岡県	-	-	110	1.28	28	0.33	228	2.65	42	0.49	89	1.03	8	0.09	64	0.74	1	0.01
愛知県	-	-	115	0.63	69	0.38	265	1.46	120	0.66	34	0.19	20	0.11	116	0.64	4	0.02
三重県	2	0.03	19	0.42	14	0.31	147	3.27	18	0.40	12	0.27	5	0.11	36	0.80	2	0.04
滋賀県	-	-	19	0.58	1	0.03	35	1.06	18	0.55	23	0.70	-	-	21	0.64	-	-
京都府	-	-	4	0.05	17	0.23	139	1.85	20	0.27	22	0.29	4	0.05	22	0.29	1	0.01
大阪府	2	0.01	85	0.43	54	0.27	308	1.56	134	0.68	109	0.55	21	0.11	100	0.51	2	0.01
兵庫県	1	0.01	55	0.43	45	0.35	290	2.27	72	0.56	87	0.68	11	0.09	77	0.60	1	0.01
奈良県	-	-	13	0.38	13	0.38	60	1.76	11	0.32	27	0.79	4	0.12	15	0.44	-	-
和歌山県	-	-	12	0.39	7	0.23	52	1.68	20	0.65	12	0.39	7	0.23	35	1.13	2	0.06
鳥取県	-	-	2	0.11	10	0.53	46	2.42	9	0.47	67	3.53	3	0.16	16	0.84	-	-
島根県	-	-	17	0.74	6	0.26	49	2.13	7	0.30	30	1.30	3	0.13	11	0.48	-	-
岡山県	-	-	6	0.11	21	0.39	105	1.94	32	0.59	187	3.46	5	0.09	35	0.65	-	-
広島県	-	-	45	0.60	22	0.29	218	2.91	49	0.65	123	1.64	8	0.11	49	0.65	1	0.01
山口県	-	-	33	0.67	19	0.39	176	3.59	14	0.29	141	2.88	4	0.08	54	1.10	-	-
徳島県	-	-	20	0.87	22	0.96	44	1.91	7	0.30	28	1.22	1	0.04	14	0.61	-	-
香川県	-	-	10	0.31	7	0.22	90	2.81	23	0.72	26	0.81	6	0.19	20	0.63	-	-
愛媛県	-	-	32	0.86	23	0.62	129	3.49	28	0.76	63	1.70	2	0.05	57	1.54	-	-
高知県	-	-	37	1.19	8	0.26	57	1.84	15	0.48	11	0.35	1	0.03	20	0.65	-	-
福岡県	-	-	103	0.86	57	0.48	355	2.96	81	0.68	41	0.34	52	0.43	128	1.07	8	0.07
佐賀県	-	-	14	0.61	11	0.48	36	1.57	21	0.91	23	1.00	5	0.22	30	1.30	-	-
長崎県	-	-	15	0.34	9	0.20	74	1.68	30	0.68	11	0.25	7	0.16	34	0.77	2	0.05
熊本県	-	-	19	0.40	14	0.29	150	3.13	16	0.33	17	0.35	4	0.08	26	0.54	1	0.02
大分県	-	-	75	2.08	35	0.97	204	5.67	26	0.72	11	0.31	3	0.08	34	0.94	-	-
宮崎県	-	-	24	0.65	34	0.92	216	5.84	22	0.59	17	0.46	13	0.35	56	1.51	-	-
鹿児島県	9	0.10	16	0.29	13	0.23	182	3.25	35	0.63	8	0.14	19	0.34	39	0.70	-	-
沖縄県	118	2.03	4	0.12	7	0.21	29	0.85	17	0.50	12	0.35	1	0.03	12	0.35	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年33週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	13	0.00	3847	1.28	14	0.00	3761	1.25	20	0.03	835	1.30	5	0.01	26	0.06	116	0.25
北海道	-	-	204	1.41	-	-	138	0.95	-	-	33	1.10	-	-	-	-	1	0.04
青森県	-	-	148	3.52	-	-	33	0.79	-	-	12	1.09	-	-	-	-	6	1.00
岩手県	-	-	59	1.59	-	-	29	0.78	-	-	30	2.50	-	-	-	-	2	0.10
宮城県	-	-	69	1.13	-	-	77	1.26	1	0.08	1	0.08	-	-	-	-	2	0.17
秋田県	-	-	69	2.03	1	0.03	18	0.53	-	-	-	-	-	-	6	0.75	3	0.38
山形県	-	-	60	2.00	-	-	53	1.77	-	-	3	0.38	-	-	-	-	1	0.10
福島県	-	-	60	1.25	-	-	73	1.52	-	-	24	2.00	-	-	-	-	7	1.00
茨城県	1	0.01	44	0.59	1	0.01	182	2.46	-	-	20	1.25	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	35	0.76	-	-	20	0.43	-	-	23	1.92	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	100	1.61	-	-	45	0.73	-	-	32	2.29	-	-	-	-	7	0.70
埼玉県	2	0.01	130	0.90	-	-	154	1.07	2	0.05	62	1.68	-	-	-	-	8	0.89
千葉県	2	0.02	86	0.68	-	-	152	1.20	3	0.09	36	1.06	-	-	2	0.22	2	0.22
東京都	4	0.03	104	0.73	2	0.01	115	0.81	-	-	14	1.00	2	0.08	1	0.04	2	0.08
神奈川県	-	-	195	0.99	-	-	165	0.84	-	-	60	1.46	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	259	4.18	-	-	40	0.65	-	-	8	0.80	-	-	-	-	7	0.54
富山県	-	-	28	0.97	-	-	49	1.69	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	31	1.07	-	-	92	3.17	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1.60
福井県	-	-	57	2.59	-	-	29	1.32	-	-	13	4.33	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	28	1.12	-	-	14	0.56	-	-	1	0.33	1	0.10	-	-	5	0.50
長野県	-	-	174	3.16	-	-	111	2.02	-	-	17	1.55	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	39	0.74	1	0.02	107	2.02	-	-	27	2.25	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	117	1.36	2	0.02	131	1.52	-	-	38	1.90	1	0.10	1	0.10	2	0.20
愛知県	-	-	155	0.85	2	0.01	204	1.12	1	0.03	67	1.91	-	-	-	-	3	0.23
三重県	-	-	118	2.62	-	-	51	1.13	-	-	39	3.25	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	-	-	44	1.33	-	-	53	1.61	-	-	11	1.57	-	-	1	0.14	-	-
京都府	-	-	49	0.65	-	-	64	0.85	-	-	7	0.39	-	-	-	-	2	0.29
大阪府	1	0.01	188	0.95	2	0.01	173	0.87	2	0.04	45	0.87	-	-	-	-	5	0.36
兵庫県	2	0.02	218	1.70	1	0.01	102	0.80	-	-	31	0.89	-	-	-	-	1	0.07
奈良県	-	-	36	1.06	-	-	56	1.65	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	39	1.26	1	0.03	65	2.10	-	-	2	0.50	-	-	2	0.18	1	0.09
鳥取県	-	-	17	0.89	1	0.05	21	1.11	-	-	2	0.67	-	-	-	-	3	0.60
島根県	-	-	25	1.09	-	-	17	0.74	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	36	0.67	-	-	56	1.04	-	-	12	1.00	-	-	-	-	5	1.00
広島県	1	0.01	80	1.07	-	-	120	1.60	-	-	16	0.80	-	-	1	0.05	2	0.11
山口県	-	-	47	0.96	-	-	52	1.06	-	-	7	0.78	-	-	-	-	16	1.78
徳島県	-	-	25	1.09	-	-	32	1.39	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	23	0.72	-	-	76	2.38	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	29	0.78	-	-	62	1.68	1	0.13	25	3.13	-	-	-	-	2	0.33
高知県	-	-	26	0.84	-	-	22	0.71	-	-	5	1.67	-	-	1	0.14	2	0.29
福岡県	-	-	135	1.13	-	-	225	1.88	3	0.12	21	0.81	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	40	1.74	-	-	31	1.35	-	-	2	0.50	-	-	2	0.33	2	0.33
長崎県	-	-	30	0.68	-	-	61	1.39	4	0.50	14	1.75	-	-	1	0.08	2	0.17
熊本県	-	-	61	1.27	-	-	108	2.25	-	-	15	1.67	-	-	8	0.53	2	0.13
大分県	-	-	111	3.08	-	-	36	1.00	2	0.40	6	1.20	-	-	-	-	3	0.27
宮崎県	-	-	137	3.70	-	-	61	1.65	-	-	16	4.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	62	1.11	-	-	72	1.29	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	20	0.59	-	-	114	3.35	-	-	27	2.70	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成17年33週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症 報告数
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	3	0.01	-	-	28
北海道	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	...
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	2
山形県	-	-	-	-	-
福島県	2	0.29	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	...
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	2
山梨県	1	0.10	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	...
愛知県	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	...
福岡県	-	-	-	-	...
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	...
大分県	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(...)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

平成16年10月1日より感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と対象動物が追加されました。
*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年33週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群*						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	2	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

感染症週報 第7巻 第33号 平成17年9月2日発行
発行：国立感染症研究所
厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
T E L : 03-5285-1111
F A X : 03-5285-1129
U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
< 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
< 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。